



北海道公立大学法人  
札幌医科大学

大学案内

# LEAP 2027

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY



# 札幌医科大学の沿革



大野精七初代学長

昭和25年6月25日

## 開学記念日の制定

昭和25年6月25日、札幌医科大学開学式が挙行された。  
大野初代学長は、「本学の使命と建学の精神は医学の進歩発展に寄与することはもとより、北海道の保健医療を担う優秀な医師の養成を目的としており、本学の使命は重大である」と述べた。



昭和50年代の中央検査室



新手術室



現在の札幌医科大学附属病院



開学当初の大学校舎



開学当初の講義風景



病棟における看護の様子

昭和25年  
札幌医科大学開学

1952

昭和27年  
附属研究機関を設置

1956

昭和31年  
大学院医学研究科を開設  
附属図書館の開設

1993

平成5年  
保健医療学部を開設、  
総合医科大学へ

1950



昭和28年頃の病院



旧附属図書館閲覧室



昭和63年当時の脳神経外科手術

平成10年  
大学院保健医療学  
研究科を開設

1998

平成11年  
基礎医学研究棟完成



基礎医学研究棟

平成19年4月  
北海道公立大学法人  
札幌医科大学へ

2007

平成23年  
医学部附属フロンティア  
医学研究所  
(現 医学部附属研究所)  
の新設

2011

平成24年  
助産学専攻科  
(現 専攻科助産学専攻)  
を開設

2012



教育研究棟

現在の講義風景



教育研究棟IIアトリウム

令和2年  
専攻科公衆衛生看護学  
専攻を開設

2020

令和3年  
教育研究棟II・  
大学管理棟完成

2021

令和4年  
新キャンパス  
完成

2022



沿革のサイトはこちら



学長 山下 敏彦  
Yamashita Toshihiko

## 次の10年へ! Vision for the Next Decade



札幌医科大学  
Vision for the Next Decade

札幌医科大学は、2025年に創基80周年(開学75周年)を迎えました。日本の戦後の復興・発展に重なる80年間に築かれた伝統と業績を再認識し、未来に向かう更なる発展への決意を新たにしました。

この80周年を機に、新長期ビジョン「Vision for the Next Decade」を策定しました。その基本的コンセプトとして「機動力」「基盤」「希望」「気持ち」「絆」の5つのキーワードを掲げ、これからの10年、そしてその先の未来に向けて、本学の進むべき方向性や目標を示しています。「教育」「研究」「診療」「国際・社会連携」「ガバナンス」のそれぞれについて具体的なビジョンを列記しています。「Vision for the Next Decade」は札幌医科大学のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください(上記「二次元コード」から)。

教育ビジョンとして、学生の個性を活かし、グローバルな視点やDXへの対応力、チーム医療に必要な協調性を兼ね備えた人材を育成することを謳っています。2025年には、国公立大学としては初となる「スポーツ医学講座」を医学部に新設しました。また、医学部入試改革として、総合選抜型の「道民枠」を導入しました。地域医療に対するモチベーションの高い人材を選抜し、入学後も将来の地域医療に貢献するマインドや能力を高める教育プログラムを実施します。

研究に関する最近のニュースとしては、本学の先端研究を基にした新たな抗悪性腫瘍剤「ダトロウエイ」が世界に向けて発売されたこと、世界初の脊髄再生医療に向けた幹細胞製剤「ステミラック注」の本承認申請を厚生労働省に対して行ったことなど、世界をリードする研究活動が推進されています。

臨床面では、内科領域における「がんゲノム医療」、外科領域における「ロボット・内視鏡手術」、さらには「地域医療推進型・高度遠隔ICU」を開始するなど、新しい取り組みを展開しています。また、「感染症医療教育・支援センター」では、本道唯一の感染管理認定看護師の養成課程を開始しました。

コロナ収束に伴い、国際交流事業も本格的に再開しています。従来5か国(米国、カナダ、韓国、中国、フィンランド)の8大学・団体との国際交流を展開してきましたが、新たに台湾の大学とも交流協定を締結しました。また、パラオ共和国への医療支援、医療者交流も推進しています。

本学の建学の精神は、「進取の精神と自由闊達な気風」「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」です。自由で伸び伸びとした学修環境のもと、大学コミュニケーションマーク(左ページ参照)のコンセプト「世界に羽ばたく札幌医のつばさ」の通り、意欲的で優れた医療人を輩出し、道民医療に貢献していきます。

この「LEAP」を通して、札幌医科大学の「今」を知り、興味を持っていただければ幸いです。そして、近い将来と一緒に学び、仕事ができることを願っています。

札幌医科大学は  
80年の歴史と伝統を基盤として、  
次の10年、そしてその先の未来に向けて  
新たな歩みを開始しています。

建学の精神

- 一、進取の精神と自由闊達な気風
- 一、医学・医療の攻究と地域医療への貢献

理念

- 最高レベルの医科大学を目指します
- 人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進します
- 国際的・先端的な研究を進めます



## アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

### 医学部

#### 求める学生像

札幌医科大学医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的研究を通じて世界に貢献できる研究者を育てます。我々は命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある医師を育てていくために、以下に掲げる能力・資質を有する学生を求めます。

#### 【知識・技能】

1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関して高い基礎学力を有し、強い学習意欲を有する人
2. 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人

#### 【思考力・判断力・表現力等の能力】

1. 様々な事象に対し、関心と理解力をもつ人
2. 自分自身で得た知識・情報をもとに論理的思考を行うことができる人
3. コミュニケーションに必要な口頭・文章表現力を有する人

#### 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

1. 積極的に自ら物事に取り組む姿勢を有する人
2. 他者の考えの理解に努め、多様な属性の人々と協調して良好な関係を築くことができる人
3. 社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人

### 保健医療学部

#### 求める学生像

札幌医科大学保健医療学部は、札幌医科大学の建学の精神、理念に基づき、看護師・理学療法士・作業療法士に求められる実践能力やそれぞれの学問分野の発展に寄与する研究能力の基礎・基本を育むことを目的に、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)に基づく教育を行っています。このような教育を受けるための条件として、以下に掲げる能力・資質を具えた学生を受け入れます。

#### 【知識・技能】

1. 高等学校等の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している

#### 【思考力・判断力・表現力等の能力】

2. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的に思考し、自分の言葉で表現できる
3. 知的探求心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物ごとをとらえることができる

#### 【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

4. 良心と社会規範にしたがって良識ある行動をとることができる
5. 人々との交流を大切に、常に温かな配慮をもって他者と接することができる
6. 自らの成長のために粘り強く物ごとに取り組むことができる



## LEAP 2027 | CONTENTS

札幌医科大学の沿革	002
学長からのメッセージ	004
建学の精神・理念	004
アドミッション・ポリシー	006
札幌医科大学の特長	008

### 医学部

医学部長あいさつ	011
医学部長×学生対談	012
入学者選抜について	014
医学部カリキュラム(全入試枠共通)	014
卒業後キャリア形成モデルプログラム	015
第1学年	016
第2学年	017
第3学年	018
第4学年	019
第5学年	020
第6学年	021
学生の声	022
臨床実習	024
卒業後の臨床研修	026
大学院医学研究科	028
医学部附属研究所	029
附属病院	030
診療系センター	031
卒業後の国内外留学	032

### 保健医療学部

保健医療学部長あいさつ	035
保健医療学部長×学生対談	036
今、保健医療学部が選ばれる理由	038
卒業後の活躍	048
Message from OB/OG	050
保健医療学部の学びの特徴	052
教員研究紹介	052
学生インタビュー	054
看護学科	056
理学療法学科	058
作業療法学科	060
大学院保健医療学研究科	062

助産学専攻	064
公衆衛生看護学専攻	066

2学部合同の地域医療教育	068
医療人育成センター	070
学生生活関連施設	071
国際交流	072
札幌医大生の一日	074
年間イベントカレンダー	076
部活動・サークル活動	076
学生生活支援	078
交通手段	079

# 伝統と実績を兼ね備えた 世界をリードする医療系総合大学です。

## 札幌医科大学の 特長

### 大学院で学びキャリアアップ

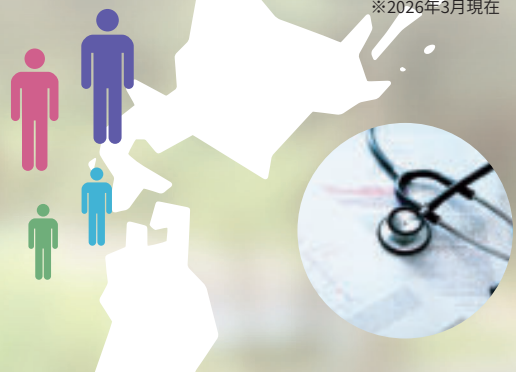
修士及び博士の学位授与者数

●医学 **3,418人** ●保健医療学 **540人**  
※2026年3月現在

### 多くの医療人を輩出

#### 卒業生数

●医学部 **6,509人**  
●保健医療学部  
●看護学科 **1,541人**  
●理学療法学科 **637人**  
●作業療法学科 **623人**  
※2026年3月現在



### 高い国家試験 合格率

●医師国家試験 **93.3%**  
(全国平均91.1%)  
●看護師国家試験 **99.8%**  
(全国平均89.7%)  
●理学療法士国家試験 **97.2%**  
(全国平均85.9%)  
●作業療法士国家試験 **94.1%**  
(全国平均82.6%)  
※過去10年の結果

### 学生の勉学を支援

附属総合情報センター 蔵書数

●図書・製本雑誌 **196,022冊**  
●電子ジャーナル **7,980誌**  
※2026年3月現在

### 教育、研究に活用

標本館 標本数 **51,369点** ※2026年1月末現在



### 高度な医療を提供

附属病院

●年間外来延患者数 **376,029人**  
(1日平均1,553.8人)  
●年間入院延患者数 **216,662人**  
(1日平均593.6人)  
●年間手術件数 **7,802件**  
●年間分娩件数 **489件**  
※2025年度実績

### 多くの研究実績

文部科学省科学研究費  
助成事業 交付額

**280,770,000円**  
※2025年度実績

### 知的財産関係

知的財産権等収入

全国 **7位**(206,298千円)

文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について  
(令和6年度実績)」より



School of Medicine

# 医学部

医学科

人間性豊かな医師の育成と、  
医学研究者となるための基礎を培います。

入学までに学習しておくことが期待される内容

### 1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力

1) 医学を学修するための基礎学力: 生命科学としての医学を学修するにあたって、生物、化学、物理及び数学の基礎学力は必須です。さらに、医療と医学研究の場では、人との交流が基盤となります。

それを支えるコミュニケーション能力を発揮するために、論理的に思考し、相手に伝えることのできる正確な日本語と国際的視野で考え行動するための英語の学力が重要です。

2) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎知識: 医学研究と医療の実践には、人文社会科学の視点から健康・疾病を理解することが必要です。そのために、自然科学のほか、人文社会科学など幅広い領域に関する基礎知識が不可欠です。

### 2. 自ら課題を探求し、問題を解決する学習習慣

医師には生涯にわたる自己研鑽が求められます。自ら課題を抽出し、問題点・疑問点を解決していく積極的な学習姿勢が必要です。

### 3. 自主的、協調的な態度と行動

チーム医療なしには医療は実践できません。医師は、医療チームの一員として、他者と連携・協調して行動することが求められます。

### 4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣

人々の健康を守り、病に立ち向かう医師となるための精神力と体力が必要です。まず、自分の健康に心がけ、基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。



医学部長 仲瀬 裕志  
Nakase Hiroshi

## 未来の医療を切り拓く一歩

医師をめざす理由は、一人ひとり異なるはずですが、誰かの力になりたい、病気の仕組みを解き明かしたい、地域の医療を支えたい—その思いの出発点を、どうか大切にしてください。医師という仕事は、確かな知識と技術だけで成り立つものではありません。人の痛みや不安に寄り添い、相手の立場を想像し、社会の中で医療が果たす役割を考え続ける姿勢が求められます。

札幌医科大学医学部は、進取の精神と自由闊達な気風のもと、人間性豊かな医師を育てるとともに、医学研究者として歩むための確かな基礎を培う場です。ここでの学びは、知識や技術の修得にとどまりません。患者さんの声に真摯に耳を傾け、多様な価値観に触れ、仲間と協働しながら、自ら問いを立てて学び続ける力を育てていきます。変化の大きい時代だからこそ、自ら学びを深め、課題を見つけ、解決へ向かう力がこれまで以上に大切になっています。

医療の道は、決して平坦ではありません。学べば学ぶほど自分の未熟さを知り、迷い、立ち止まることもあるでしょう。しかし、その一つひとつの経験こそが、目の前の一人に誠実に向き合う姿勢を育て、未来の医療を切り拓く力につながっていきます。困難に直面したときこそ、自分がなぜ医師を志したのかという原点を思い出し、前に進んでください。悩みや葛藤を抱えながらも学び続けた時間は、必ず皆さんの糧になります。

本学には、地域医療から高度医療、基礎研究から新たな医療の創造まで、幅広く挑戦できる環境があります。北海道に根ざしながら世界へとつながる学びの中で、自らの可能性を大きく広げてほしいと願っています。広い視野を持ち、地域に学び、世界に目を向けながら、自分ならではの医師像、研究者像を築いてください。

大切なのは、失敗を恐れず一歩を踏み出すことです。患者さんから学び、仲間と高め合い、自分自身の成長を積み重ねていく。その歩みが、やがて社会に希望を届ける医師・研究者へと皆さんを導いてくれるはずです。これから始まる学生生活が、実り多く、かけがえのない時間となることを心から願っています。

# ディプロマ・ポリシーをより深く

# 知るために

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）は、どのような力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与するかを定める基本的な方針です。本学医学部がディプロマ・ポリシーに掲げる能力や資質について3年生が医学部長へインタビューをしました。



**和歌:** 求められる倫理観というのは、その職業や場によって変わってくる部分があると思うのですが、特に医師に求められる倫理観とはどのようなものなのでしょうか。

**学部長:** やはり誠実さ、そして礼儀正しさです。患者さんに対していかに誠実であるかということです。医療の現場において、我々は常に100%を目指して治療を行うわけですが、必ずしも全てがうまくいくとは限りません。例えば、抗がん剤の治療を行い、完治すれば患者さんは一番幸せでしょうし、患者さんもそれを望んで治療を受けるわけです。ですが、必ずしも全ての患者さんが抗がん剤治療にうまく反応するとは限りません。治療がうまくいかなかった時にも、いかに患者さんにきちんと説明できるか、それが誠実で真摯な態度であり、最も大切なことだと思います。そうすれば、患者さんはとても信頼してくださると思うのです。困難に直面した時に、患者さんにしっかりと話をすること、「逃げない」ということです。今の医学がどれだけ進歩しても、正直な話、分からないことばかりです。教科書に載っていることは、ほんの一部です。教科書にも載っていないような症例に遭遇した際に、どのように取り組んでいくかが大事で、それが真摯な態度です。この心構えこそが、皆さんがこれから医師になった時に大事なマインドだと思います。私も今でも、これは一体どういう病態が生じているのだろうかということがしばしばあります。「目の前の疑問を真摯に取り組む」、これこそが、皆さんの次の10年（ネクスト・ディケイド）ではないでしょうか。



和歌 雛子

Waka Hinako

医学部医学科第3学年

北海道札幌南高等学校出身  
学校推薦型選抜（先進研修連携枠）

古明地 勇斗

Komeichi Yuto

医学部医学科第3学年

北嶺高等学校出身  
学校推薦型選抜（先進研修連携枠）

で考えたことは、一切ありませんでした。基礎よりも臨床のみをやっていたら良いと思っていました。しかし、ある恩師（西神戸医療センター小森先生）に、京大大学院に行くのはどうかと提案されました。実際に大学院に入学して分かったことは、研究をする時物事を深く考えるという素地がつくこと。つまり、研究を通して考え方を身につけることは、臨床に絶対に還元されるということ。私自身、それを強く実感しました。

ですから、全ての学生さんにMD-PhDプログラムや大学院などで、一時期でも研究する時間を作ることを強く勧めます。私は、本学にMD-PhDのシステムがあることは強みだと思っています。学生時代に研究の手法・論理展開を身につけることは、医師になってから強みとなります。基礎と臨床を全く分けて行う必要はありません。ぜひ挑戦してください。考え方が広がり、難しい病気に対して取り組む力がつきます。

**和歌:** 地域における医師不足と高齢化による地域医療の必要性、重要性を感じる一方で、自身のキャリアや技術の向上を考えると、症例の多い都会で力をつけるのが良いのではないかと考えることがあります。具体的に地域医療の現状について教えていただきたいです。

**学部長:** 地域医療において重要なことは、いかに患者さんの病気を早く見つけるかです。予防医学や生活習慣病をマネジメントする力が必要になります。なので、将来との講座、どの診療科で働くとしても、内科の基本的な知

識を身につけておくことは極めて重要です。例えば、君たちが皮膚科の医師となった場合、皮膚を見るだけで内科疾患の異常を見つけることができるようになれば、患者さんにとってプラスになりますよね。個人的な考えを言わせていただく、ある時期は地域で、ある時期は都会で、どちらも経験し、いろんなところで診療を経験するのが一番良いとわたしは思います。地域では、たくさん症例が見られないと考える方もいますが、私はそうは思いません。

逆に、一人の患者さんをじっくり診察することができる良い機会です。沢山の患者さんを診察したとしても、その振り返りができないのでは意味がありません。それに、今はリモートを使った診療も発達し、大学や病院と繋いで診療、相談することもでき、地域で働いていても十分に学ぶことができます。私の恩師（和歌山医大前循環器内科教授赤坂先生）の言葉ですが、「どこに行っても何をやるか」が大事なのです。どこにいても、自分なりに努力していれば、周りの人は必ず見えていますし、その努力が次のステップに繋がると思っています。

私自身も、地域医療に携わり、地方での検診、高齢者の慢性疾患管理、そして患者さんの自宅での看取りなど貴重な経験をしました。医師が地域住民とどのように繋がっていくか、ぜひそういった経験をしてほしいと思います。新しい知識や技術は救命のために絶対必要ですが、それだけではありません。患者さんとコミュニケーションを構築する技量も大事です。なので、いろんな場所で適応できる力を



医学部長

仲瀬 裕志

Nakase Hiroshi

身につけることは重要です。

**古明地:** 日々の学習において、膨大な知識を暗記することに精一杯になることがあります。臨床の現場では知識だけでは通用しない場面も多くあると聞きますが、どのような学習をすれば、とっさの判断や論理的な思考力が身につくのでしょうか。また、実際にどのような状況でその力が必要になるのか教えていただきたいです。

**学部長:** 論理的な思考力は、基礎研究の考え方が礎となります。つまり、ひとつひとつ失敗の原因を振り返る習慣をつけられれば、論理的な考え方が身につきます。だから基礎研究をやってほしいと思っています。ただ、今は焦ら

ず、しっかりと知識を蓄えることが大事です。その知識をベースに、臨床の現場で救急などの急性疾患を見て学んでください。やはり知識がなければ対応はできません。とっさの判断力を養うためには、まず知識をつけ、その後救急や集中治療の現場を見て経験を積んでください。先輩の先生方が何をやっているかを見るのです。見る、行う、そして最後は先輩に教えること。これが医療現場における三原則です。つまり、君たちが後輩に教えることができるようになれば、その治療に関しての知識・技術は習得できたということになります。反復するしかありませんが、不安に思うことはありません。繰り返すようになりますが、物事を咀嚼に考えるためには知識が不可欠です。あともう一つは、物事を横断的に考えることです。私は消化器内科ですが、基礎研究として粘膜免疫というものベースに色々な病気をしています。ですから、何か基礎分野で自分の得意分野をつくれれば、臨床医としても多角的な考え方ができるようになり、応用が効くようになります。

**和歌:** 今の世の中はAIが発展してきていますが、学生の時から身につけておいた方が良い力や、AIの活用に対して何かアドバイスはありますか。

**学部長:** 私もチャットGPTを使ってみましたが、彼らの提示する内容を鵜呑みにしてはいけません。以前使用した際、チャットGPTに文献を提示させたら、内容が間違っていることがありました。内容を自分で検証する必要があります。

あります。使ってもいいですが、自分でその内容を確認することが非常に大事です。ただ、これらAIを使えば、自分が必要とする内容を調べる時間を大幅にカットできます。最初からAIに頼るのではなく、一度自分で書いたものをはめ込んで、相手により伝わりやすいような表現にしてもらう校正ツールとしての使用はいいのかもしれない。時間を取られる事務的な部分には、どんどん活用できるということです。ただし、誤字脱字や当て字などは必ずチェックしなければなりません。

**古明地:** 他の医療従事者の方と協力するために、先生から見てどのような医師であれば協力しやすいか、性格や考え方を教えてください。



**学部長:** 謙虚でいることです。医療は医者だけでは絶対にできません。看護師、コメディカルスタッフ、病院運営、様々な職務に携わる方たちがいなければ医療は成り立ちません。職員の方々に「おはようございます」「こんにちは」「お疲れ様です」など挨拶する習慣、そして全てのスタッフに感謝の念を持つことが大事です。私はアメリカで研究していた時には、研究室に朝早くから掃除に来る人たちいつも挨拶を交わしていました。いろんな職業の方に対してリスペクトと感謝の気持ちをもち続けることが重要だと私は思っています。

**古明地:** どうすれば患者さんを安心させる言葉をかけられますか。

**学部長:** アルバイトなどで、医者以外の仕事を体験し、様々な人と話をすることは良い経験になると思いますし、患者さんへの接し方にも通じるものがあると思います。そういった機会があればぜひ経験してほしいです。勉強に加え、クラブ活動、アルバイトなどメリハリをつけて学生生活を過ごしていただきたいです。そして、ぜひ、英語を話す練習をしてほしいと思います。日本人はシャイなところがありますが、日本の教育レベルは非常に高いです。自信を持って、間違いを気にせず英語を話してみてください。Think Global!これが、私からの最後のメッセージです。



**古明地:** 本学には、学生のうちから研究に携わることができるMD-PhDプログラムというものがありますが、私の同期には臨床医を目指している学生が多く感じます。臨床医を目指している学生も、研究に対して関心を持つことは、将来社会に出た後にどのようなプラスの影響になるのでしょうか。

**学部長:** 正直、私は学生の頃、臨床にしか興味がありませんでしたし、研究や大学院につい

# 卒後のキャリアを見据えた 幅広いプログラム

## 札幌医科大学から地域へ、そして世界へ

### 入学者選抜について

札幌医科大学は、「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」を建学の精神に掲げています。医学部では、高等学校等で学ぶ諸教科に関して高い基礎学力を有し、強い学習意欲を持つ人を対象に、一般選抜（一般枠・札幌大卒後研修枠）、総合型選抜（道民枠）、学校推薦型選抜（特別枠）により入学者を選抜しています。

総合型選抜（道民枠）では、能力・適性、学習意欲、目的意識等を総合的に評価し、将来医師として北海道の地域医療に貢献する意思のある人を求めています。

学校推薦型選抜（特別枠）は、北海道医師養成確保修学資金の貸与を受け、卒業後一定期間、北海道内の地域医療に従事する意思を持つ人を対象としています。

一般選抜では、地域や国際医療に貢献できる医師、また国際的・先端的研究を通じて世界に貢献できる研究者を目指す人を広く求めています。このうち、札幌大卒後研修枠は、卒後の所定のプログラムに従事する意思を有する人を対象としています。



### 医学部カリキュラム（全入試枠共通）



共用試験  
(CBT, OSCE)

Post-CC OSCE  
卒業試験・国家試験

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
教養教育科目	→	→	→	→		
基本的事項科目	→	→	→	→		
基礎医学系科目	→	→	→	→		
臨床医学系科目		→	→	→	→	
社会医学系科目	→	→	→	→		
臨床医学実習				→	→	→
MD-PhDコース		→	→	→	→	→

(研究医育成)MD-PhDコースの詳細につきましては、下記のURLをご参照ください。  
<https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/graduate/medicine/03bqho0000003u5.html>



医学部医学科は、2021年度に一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME: Japan Accreditation Council for Medical Education）による医学教育分野別評価を受審し、2023年1月17日付で医学教育における国際基準に「適合」として認定されました。

## 入試枠連動のキャリア形成

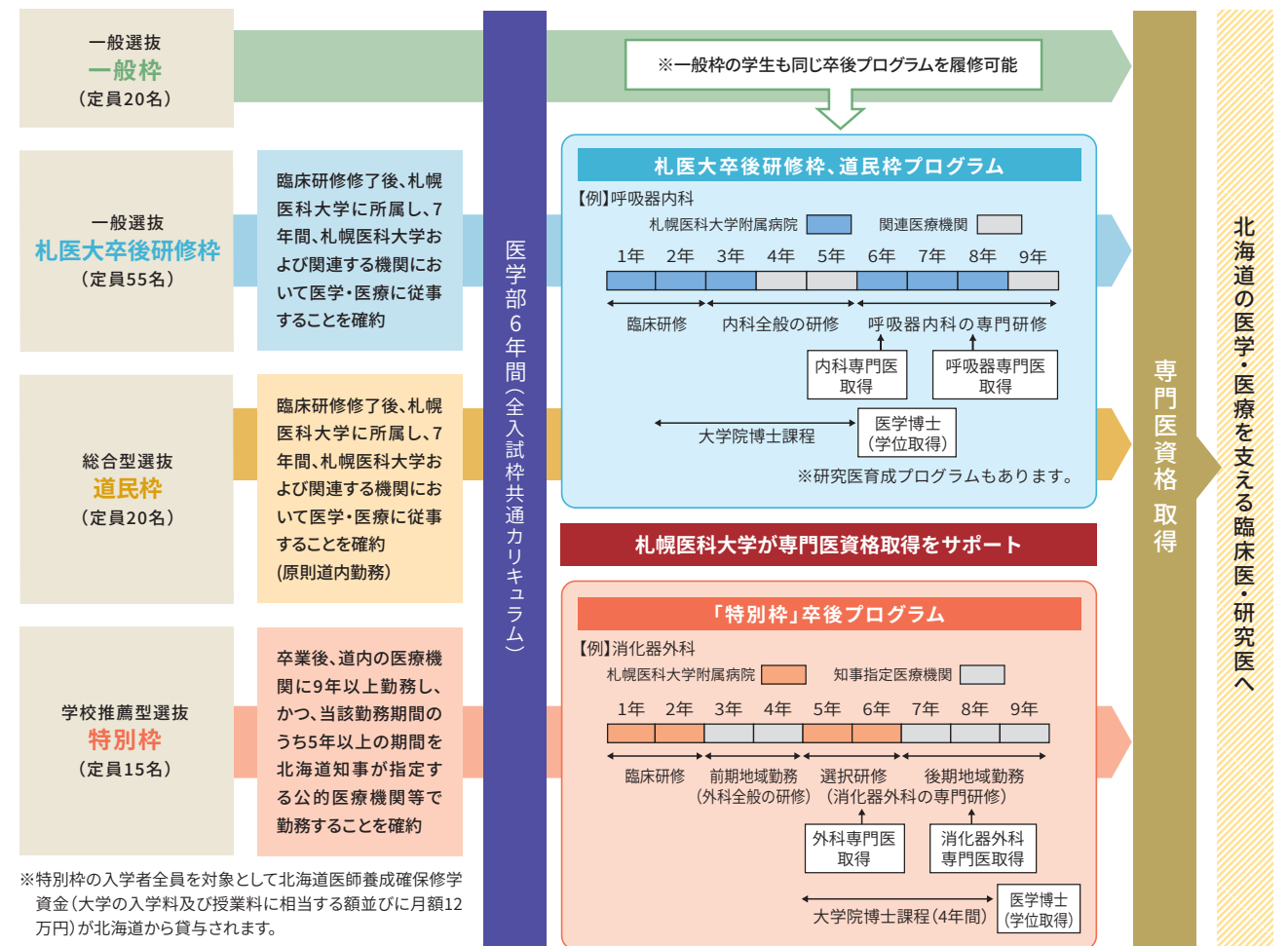
### 卒後キャリア形成モデルプログラム

医学部卒業後、医師として一人前になるまでには、臨床研修・専門研修を含めて約10年かかると言われますが、この期間に、いかに有益な研鑽を積めるかが、キャリア形成の分かれ道となります。

札幌医科大学医学部「札幌大卒後研修枠」及び「道民枠」の入学生は、卒業後2年間の臨床研修を経て、3年目からは本学附属病院各診療科及び医学部講座等に7年間所属します。充実した指導医陣のもと、本学附属病院や国内外の関連機関で研鑽を積み、専門医の資格を取得するプログラムに従事します。また、「特別枠」の入学生は、卒業後、道内の医療機関に9年以上勤務し、かつ、当該勤務期間のうち5年以上の期間を北海道知事が指定する公的医療機関等で研修・勤務し、臨床医としての研鑽を積みながら地域医療への貢献を果たすことになります。

プログラムにおいては、大学院に進学し、研究の道で学位（医学博士）を取得するプランも選択できます。

こうした様々な可能性を具体化するプログラムが用意されています。



※本ページに掲載されている入試枠連動のキャリア形成の内容は、令和7年度までの卒後キャリア形成制度を参考としています。



医学概論・医療総論 1

# 第1学年

1st Grade

医学部

## 「医師」になるための、大切な第一歩

### 医療人に必要な幅広い教養を学ぶとともに高い志を持って将来の医師像を考える

専門科目を学ぶための基礎学力の修得と、医療人としての人間形成が大きな目標です。カリキュラムは、前期・後期を通して医学を学ぶうえで欠かせない教養教育科目が中心となります。もちろん、すべての科目は基礎医学や臨床医学各科目への連携を重視した内容です。

また、第1学年から専門教育科目もスタートします。「先端医学セミナー」では、基礎医学・臨床医学における各専門分野の教授陣が、札幌医科大学で行われている最先端の医療や医学研究について分かりやすく解説します。年間を通じて開講されるので、医師へのモチベーションを高めながら、卒後の将来像を考える機会になります。「研究室(基礎)配属1・2」では、自分が興味をもって学びたいと思う研究室(講座)を選択し、少人数の実習形式で指導を受けることで研究に関する基礎知識を身につけます。より深く学びたい場合には、第2学年からMD-PhDコースに参加して基礎研究に携わることができます。



#### Curriculum

教養教育科目	リベラルアーツ	哲学、文学、言語学、社会学、人類学、数学、応用統計学、基礎医学物理、基礎生化学、基礎生命科学、放射線物理学、生命科学、自然科学実験、医学英語1、英会話、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、情報科学
	基本的事項	先端医学セミナー、医学概論・医療総論1、医療行動科学1、死生学、地域医療合同セミナー1、初年次セミナー、専門職キャリア形成論
専門教育科目	正常構造と機能	肉眼解剖学、発生生物学、分子生物学1
	疾病と病態	免疫学、免疫学実習、研究室(基礎)配属1、研究室(基礎)配属2
	社会と医療	社会医学入門、医療倫理学、法学、国際医療

※カリキュラムは令和8年度入学者適用のもので



生理・薬理学実習

## 基礎を固め、さらに専門的な分野へ

医学部

2nd Grade

# 第2学年

### 医療の基本となる人体の構造、機能、生命現象について徹底的に学び、専門知識を蓄える

第2学年になると、より医学部らしいカリキュラムが数多くスタートし、専門的な勉強が増えます。疾病を理解するには、まず正常な人体の構造や機能、生命現象を正しく把握することが必要であり、その知識を徹底的に修得します。またそのために、幅広い講義科目とともに実習科目のウェイトが高まってきます。実習の際には札幌医科大学の特徴のひとつである「少人数制教育」の利点を活用し、ぜひ積極的な姿勢で臨んでください。

基礎的な知識を踏まえたうえで、さらに薬理学、病理学、微生物学など、直接的に疾病に関わる一連のカリキュラムも始まります。ここで正しい疾病観や具体的な疾患のイメージなどを会得することで、このあとの臨床実習へ進むためのすべての基礎が形成されます。



#### Curriculum

教養教育科目	リベラルアーツ	医学英語2
	基本的事項	医学概論・医療総論2、地域医療合同セミナー2、専門職キャリア形成論
専門教育科目	正常構造と機能	肉眼解剖学実習、細胞・組織学、神経解剖学、組織学・脳実習、分子生物学2、細胞・器官生理学、神経生理学、生理学実習、生化学、生化学実習
	疾病と病態	薬理学1、病理学2、基礎腫瘍学、感染・微生物学、微生物学実習
	社会と医療	国際医療

※カリキュラムは令和8年度入学者適用のもので



病理学実習



臨床実習

## 第3学年

基礎から臨床まで、  
広い視野を身につける

臨床医学のカリキュラムがスタート。  
診断と治療のリアリティを学ぶ

基礎医学の科目では、第2学年から一歩進んで人間社会と医学、医療についての関係を学び、人間性と倫理を理解することを目指します。第3学年から始まる臨床医学のカリキュラムでは、理論と基礎知識を修得。基礎から臨床までの幅広い視野を身につけ、第4学年から始まる臨床実習に臨みます。臓器・疾患別カリキュラムのもと、内科系と外科系の双方の視点を横断的に取り入れ、診断から治療までを体系的に学びます。

また、より実践的な課題に取り組む機会が増え、たとえば第1学年から継続している「地域医療合同セミナー」では地域密着型チーム医療実習を行い、自分から積極的に考え、行動することが求められます。



### Curriculum

教養教育科目	基本的事項	医学概論・医療総論 3、医療行動科学 2、地域医療合同セミナー 3、医療統計学 1、専門職キャリア形成論
専門教育科目	疾病と病態	病理学実習
	社会と医療	衛生学、公衆衛生学、社会医学実習、医療安全管理学、国際医療
	診断と治療 I	臨床疫学、臨床検査医学、総合診療入門、消化器病学、外科・外科腫瘍学総論、循環器病学、呼吸器病学、内分泌学、血液病学、ゲノム腫瘍学、免疫・アレルギー疾患、腎・泌尿器科学、放射線医学
	診断と治療 II	小児科学、遺伝医学、神経内科学、脳神経外科学、口腔外科学、整形外科学、スポーツ医学

※カリキュラムは令和8年度入学者適用のもので

医療人として  
自ら考え、学び、成長する

## 第4学年

これまで身につけた知識と  
技能を総動員し、  
問題解決能力、臨床力を磨く

第4学年は、本格的に始まる臨床医学実習を前に、徹底的に臨床力を磨きます。医療現場ではさまざまな事態が発生します。どのような状況においても冷静で的確な判断を下せる医師になるため、この1年は密度の濃い学びが必要となります。

前半では、引き続き臨床医学のカリキュラムを中心として、患者を全人的に捉える力を養います。後半では臨床実習に必要なStudent Doctorの資格を得るため、CBT (Computer Based Testing) で知識の確認を、Pre-CC OSCE (Pre-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination) で技能の確認を行います。また、PBL (Problem Based Learning) チュートリアルも取り入れられます。これは学生が少人数のグループに分かれてモデル症例について議論や調査を重ね、解決策を模索するものです。これまで修得した基礎力を応用しながら、臨床力を身につけます。その後、臨床実習がスタートします。



### Curriculum

教養教育科目	リベラルアーツ	アドバンス医学英語
基本的事項	医学概論・医療総論 4、地域医療合同セミナー 4、PBL チュートリアル、応用医療情報科学、医療統計学 2、専門職キャリア形成論	
専門教育科目	疾病と病態	医療薬学
	社会と医療	法医学・医事法、国際医療
	診断と治療 I	症候診断学、総合老年医学、救急災害医学
	診断と治療 II	皮膚科学、形成外科学、産科・婦人科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、眼科学、精神医学、リハビリテーション医学、麻酔・集中治療医学、臨床入門
	臨床医学実習	臨床実習

※カリキュラムは令和8年度入学者適用のもので



臨床実習

## 第5学年

5th Grade

医学部

### 医療人として、 将来の方向性を探究

全科をローテーションし、多様な現場で必要となる技術と考え方、患者さんとの接し方を学ぶ

第5学年では、これまで培った知識と考え方を現場で実践する「臨床実習」(クリニカル・クラークシップ)を引き続き行います。実習は全科必修でユニットごとにローテーションしながら行い、それぞれの指導医のもと、医師(Student Doctor)として、実際に診療、回診、検査、治療に際して、医療チームの一員として責任をもって日々の学びに取り組み、幅広い知識や技術の習得とともに、医療人としての職業観、倫理観を養います。

実習では、患者さんや指導医とのコミュニケーションはもちろんのこと、看護師や薬剤師、理学療法士、作業療法士など多くの医療従事者との連携・協力が欠かせません。こうした多職種連携の重要性を理解し、コミュニケーション能力を磨きます。さまざまな人と関わりながら、自分が将来どういった方向に進むのかを探究する期間ともなります。

#### 【実習先講座等一覧】

- ・内科学講座消化器内科学分野
- ・内科学講座循環病態内科学分野
- ・内科学講座呼吸器・アレルギー内科学分野
- ・内科学講座腫瘍内科学分野
- ・内科学講座神経内科学分野
- ・内科学講座血液内科学分野
- ・内科学講座免疫・リウマチ内科学分野
- ・外科学講座消化器外科学分野
- ・外科学講座乳腺・内分泌外科学分野
- ・外科学講座心血管外科学分野
- ・外科学講座呼吸器外科学分野
- ・整形外科学講座
- ・脳神経外科学講座
- ・産婦人科学講座産婦人科学分野
- ・小児科学講座
- ・眼科学講座
- ・皮膚科学講座
- ・泌尿器科学講座
- ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座
- ・精神医学講座
- ・放射線医学講座放射線治療学分野
- ・放射線医学講座放射線診断学分野
- ・麻酔科学講座
- ・総合診療医学講座
- ・感染制御・臨床検査医学講座
- ・救急医学講座
- ・口腔外科学講座
- ・リハビリテーション医学講座
- ・形成外科学講座
- ・病理診断学講座
- ・集中治療医学講座

#### Curriculum

専門教育科目 臨床医学実習 臨床実習、総合講義 1

※カリキュラムは令和8年度入学者適用のものです



臨床実習

### 自ら進む道を選び、 切り拓く最終学年

医学部

6th Grade

## 第6学年

臨床能力をさらに高めるために、苦手な分野や興味のある分野を選択し、臨床実習に臨む

最終学年である第6学年は、引き続き全科必修で臨床実習を行います。苦手分野を克服したり、興味のある分野をさらに追求するなど、自らその道を選んで将来につなげます。診療科では引き続き医療チームの一員として診療技術、識別診断の考え方、治療方針の立て方、患者さんとの接し方などを学びます。

また、臨床実習の総仕上げとして実技試験であるPost-CC OSCE<sup>®</sup>が行われ、これまでの学びを通して適切な医療行為を行う能力が身についているかを確かめます。この実技試験では、模擬患者へのヒアリングによって診断を行い、検査、投薬、入院などの判断を下すほか、診療録の記載、症例プレゼンテーションなどすべてが試験課題となります。秋には卒業試験、2月には医師国家試験が実施され、いよいよ卒業を迎えます。

#### ※Post-CC OSCE (Post Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)

第4～6学年のクリニカル・クラークシップで習得した基本的な臨床能力(医療面接、身体診察、臨床推論、症例提示)が問われる試験。卒業要件の一部となっています。



#### Curriculum

専門教育科目 臨床医学実習 臨床実習、総合講義 2

※カリキュラムは令和8年度入学者適用のものです

地域医療に根ざした環境で実践力を磨く学びの場



島田 紗良

Shimada Sara

医学部医学科 第2学年

道愛女子高等学校出身  
学校推薦型選抜(先進研修連携枠)

幼少期の通院や家族の病気をきっかけに、医師の献身的な姿に憧れを抱きました。自分自身も医学部での学びを通して、高い専門知識や技術を身につけ目の前の患者さんを救える存在になりたいと強く思うようになりました。中でも、地域医療を重視し先進的な研究にも取り組む札幌医科大学に強く魅力を感じ、診療参加型実習や少人数教育のもとで主体的に学び、実践的な力を身につけたいと考え志望しました。札幌医科大学の整った学習環境での講義や実習を通して医学に関する知識や理解を深めることができます。さらに先生方の丁寧な指導や先輩方、同期とのつながりに支えられながら、充実した日々を送っています。将来は、高い専門性と人間性を兼ね備え、患者さん一人ひとりに真摯に向き合いながら地域医療に貢献し多くの命と健康を支える医師を目指したいと考えています。受験勉強では不安やスランプを感じることもありましたが、周囲の友人などに支えられながら前向きに取り組む、乗り越えてきました。受験生の皆さんも、自分を信じて日々の積み重ねを大切に、心身の健康にも気を配りながら最後まで挑戦し続けてください。

知的好奇心を育み伸ばすことの出来る場所



小島 一朗

Kojima Ichiro

医学部医学科 第4学年

時習館高校出身  
一般選抜(先進研修連携枠)

基礎医学の研究者である父の背中を見て育ち、幼い頃から医学という学問に強い憧れを抱いてきました。医師を志したのは、患者さん一人ひとりに真摯に向き合い、直接的な医療行為を通して病に苦しむ方を支えることのできる、責任と使命の大きな専門職であると感じたからです。札幌医科大学に進学したのは、低学年のうちから最先端の医療や研究に触れられる教育環境に魅力を感じたためです。2年次には、外科の先生方がご献体を通じて手技の研鑽を積まれる「サージカルトレーニング」を見学し、外科医に求められる高度な技術と重い責任を肌で実感しました。また、本学にはMD-PhDコースが設けられており、学部生の段階から基礎医学研究に主体的に取り組める体制が整っています。自ら関心を抱く講座に所属し、研究テーマを設定して探究を深められる環境は、本学の大きな特色であると感じています。将来は、確かな医学的知識と技術を備えることはもちろん、「この先生になら安心して相談できる」と信頼していただける医師を目指しています。受験期間の努力は必ず将来の礎となります。自らの志を信じ、最後まで挑戦を続けてください。心より応援しています。

学ぶ姿勢を見逃さずに拾い上げてくれる指導環境



菊地 蓮

Kikuchi Ren

医学部医学科 第5学年

市立札幌旭丘高等学校出身  
一般選抜(先進研修連携枠)

私は高校1年生の時に医師を志しました。医学に強い興味を抱いたことが、その原点です。幼い頃から勉強することと人の役に立つことが好きで、生涯にわたり医学を学び続け、患者さんの力になれる医師という職業に大きな魅力を感じ、札幌医科大学への進学を決意しました。入学後に感じた札幌医科大学の魅力は、学習に集中できる環境が充実している点です。24時間開放されている図書館やPC室は多くの学生に利用されており、主体的に学びを深めることができます。また、施設面だけでなく、先生方や職員の皆様も、学ぶ意欲を持つ学生一人ひとりに丁寧に寄り添ってくださる点も、本学ならではの魅力だと感じています。4年生後期から始まった臨床実習では、出会った先生方全員が学生指導に真摯に向き合ってくださっていることを実感しました。患者さんを通して、教科書で学んだ知識と実臨床とを結びつけて学ぶことができ、日々充実した学習を続けることができています。医師になるためには、医学部という狭き門を通過する必要があります。学習の過程では、身体的にも精神的にも辛い時期が訪れるかもしれません。そのような時には、自分の努力の先に救われる命があることを思い出してほしいと思います。今の努力は、必ず誰かの役に立ちます。モチベーションを絶やさず、受験を乗り越えてください。将来、皆さんと医療の現場でお会いできることを心より楽しみにしております。

支えてもらう6年間を経て人に仕える医師へ



大屋 温

Oya Nodoka

医学部医学科 第6学年

函館中部高校出身  
学校推薦型選抜(特別枠)

小さい頃は漠然と医師に憧れていましたが、高校生のときに中村哲さんや公文和子さんといった医師の働き方を知って、人に仕える医師になりたいと思うようになりました。地方で生まれたこともあって地域医療を学びたかったこと、学費援助をいただける特別枠入試制度があったことから本学を志望しました。実際に通ってみると、3年次や5年次での地域実習で地方の人々の暮らしや医療問題を肌で実感する良い機会が与えられました。実習時の地域医療に対するイメージや知識は、低学年のときの地域医療セミナー等の授業で事前に養われたように思います。また、臨床実習では先生方が熱心で、色々なことを経験できるように考えてくれます。24時間利用できる図書館や新しい校舎など勉強する環境も整えられています。もちろん、部活動やイベントなど学校生活を彩る要素もあります。私はスキー部に入りましたが、他の学生との交わりやそこで共有した経験・感情は私の大きな財産です。卒業後は、医師の土台としての確かな知識と技術を身に付け、最終的に北海道に貢献できるようになりたいです。私は、高校時代至らない部分も多かったですが、たくさん助けられて大学生になりました。皆さんも一人ではないはず。どんなことにもきっと意味があります。皆さんが、長い間努力を重ね準備されてきたことを十分に発揮できるよう願っています。

# 臨床実習

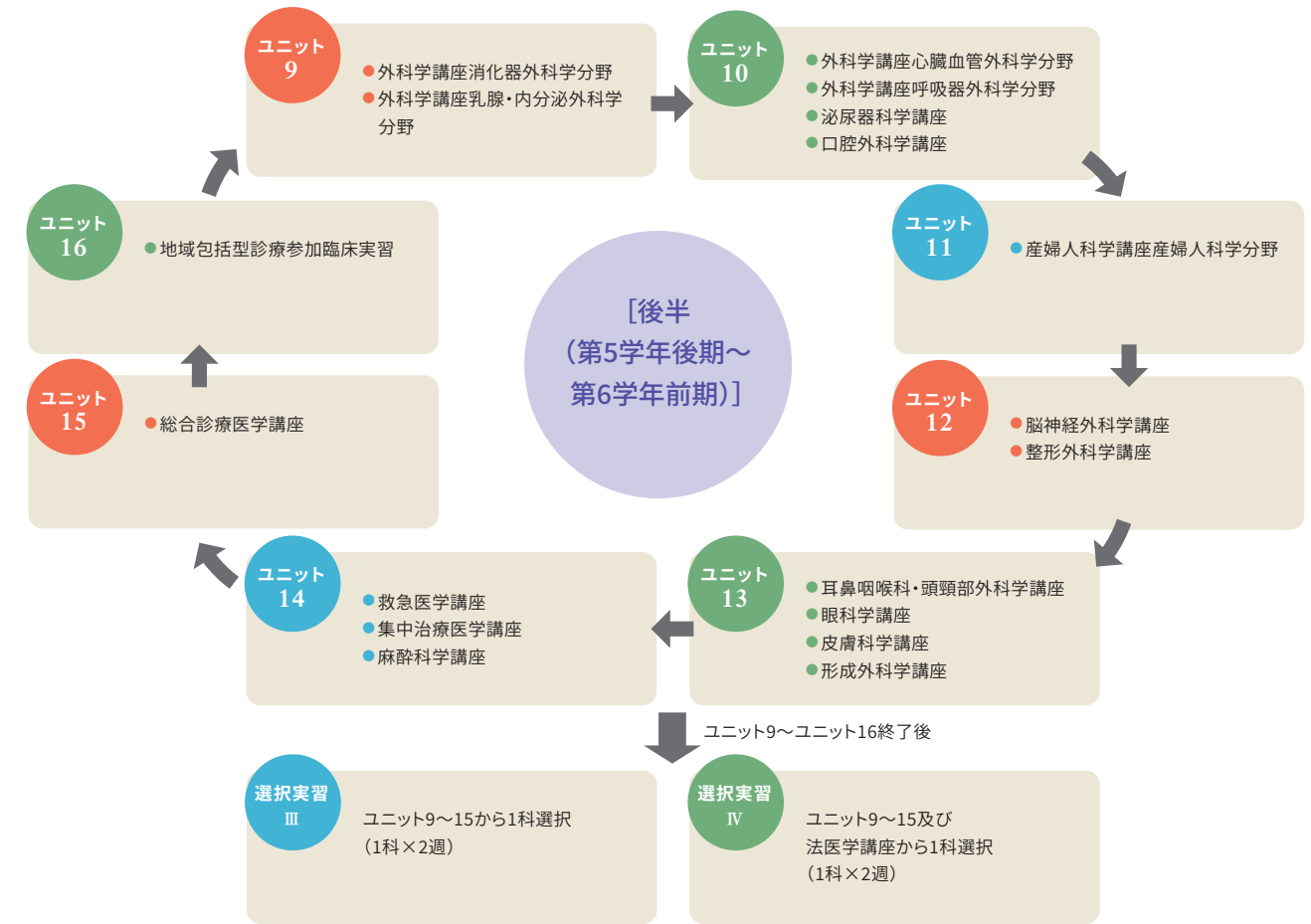
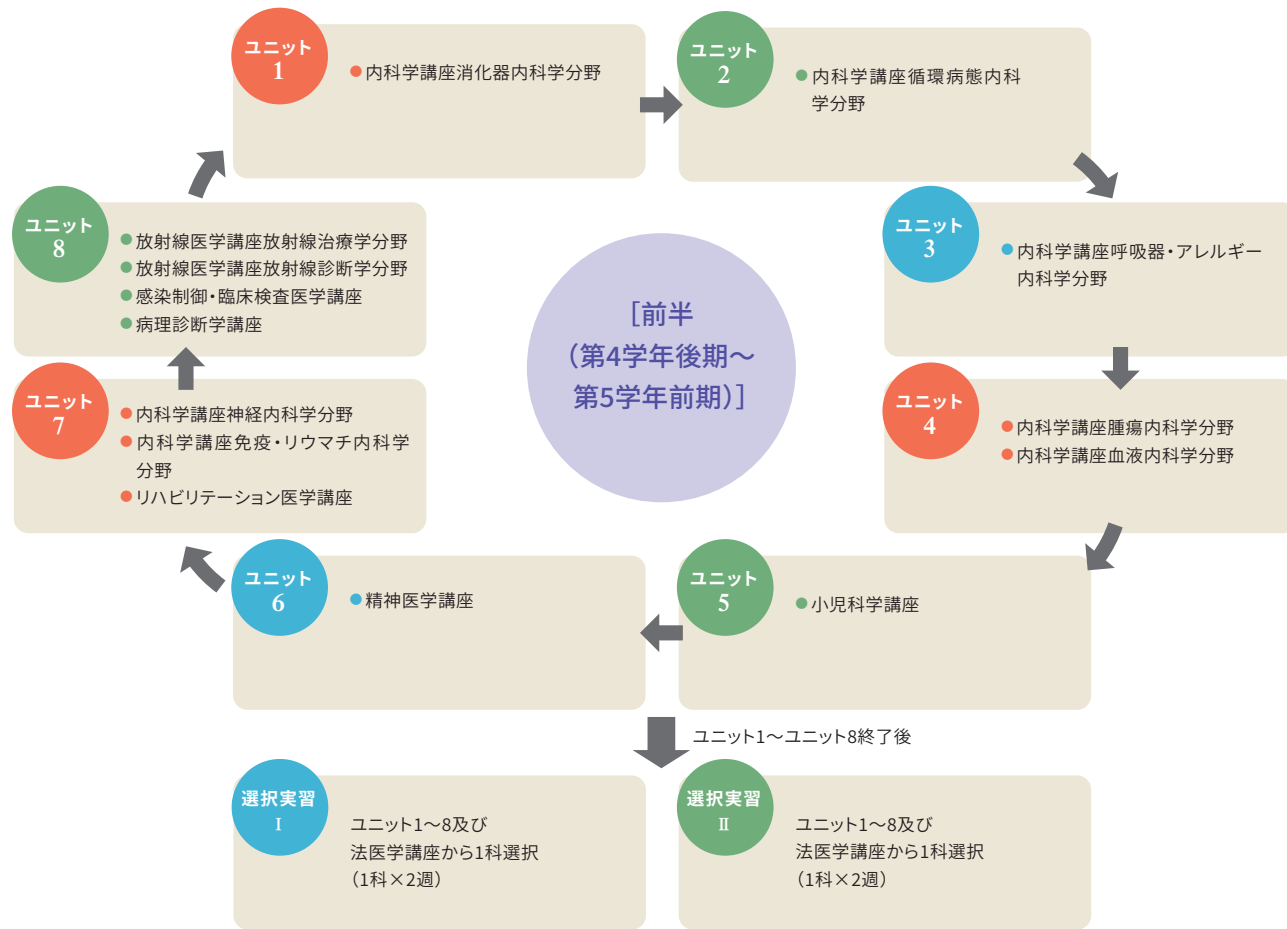
## 基本的診療能力と技術を身につける

近年の医療の高度化・複雑化によって、医師が修得すべき知識・技能が増加していることや、高齢化・疾病構造の変化・医師患者関係の変化等に伴い、患者や他の医療者とのコミュニケーション等を含むプロフェッショナリズム教育の重要性が増していることなどから、医学生が実際の診療に「参加」し、卒前・卒後の医師養成を、医療現場を中心として一貫して行う必要性が認識されてきていることを受けて、第4学年後期から第6学年まで一貫した「臨床実習」を行います。

一貫した「臨床実習」では、医師として基本的な臨床能力を確実に習得しながら、前半（第4学年～第5学年）、後半（第5学年～第6学年）それぞれ、8つのユニットと4診療科の選択実習を行い、知識・技能・態度のステップアップをはかります。なお、第6学年では、4週間、「地域包括型診療参加臨床実習」として、地域に出向いた臨床実習を行い、北海道の地域特性を踏まえた実地修練を行います。

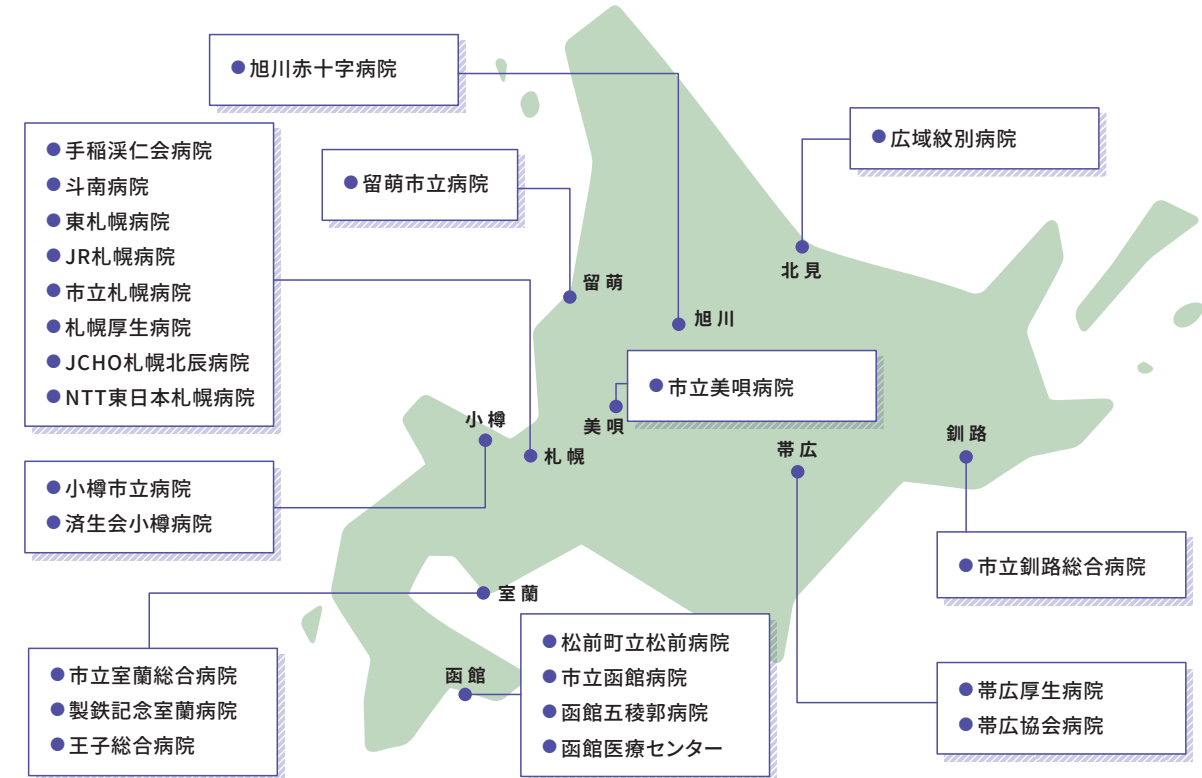
### 第4学年～第6学年（必修実習）

診療科等を16のユニットに分け（ユニット制）、全学生が全てのユニットを各4週間でローテートします。第6学年では1ユニットとして地域包括型診療参加臨床実習を実施します。前半及び後半のユニット終了後にはそれぞれ選択実習期間を設け、各個人の進みたい分野等を選択します。



### 全国先進モデル 「地域包括型診療参加臨床実習」 ～文部科学省選定～

地域包括型診療参加臨床実習では、24の地域基幹病院に4週間滞在し、医療チームの一員として診療業務を分担します。初期臨床研修医により近づいた内容の実習を行うことで、臨床現場に即した基本的診療能力（臨床推論・対応能力）を養うことができます。



# 卒業後の臨床研修

札幌医科大学医学部と札幌医科大学附属病院では、将来専門とする診療科を選択して専門医取得を目指す卒業生に対して、9年間の卒業キャリア形成プログラムを用意しています。

臨床研修期間は本学附属病院をはじめ道内外の病院、専門研修期間は本学附属病院、医学部講座等及び関連教育病院等において研鑽を積みまます。

なお、本プログラムでは、所定の期間内でキャリア形成をより効果的に進めるための柔軟な個別対応を受けることができます。9年間と並行して大学院へ進学し研究を行うことや国内外へ留学すること、出産・育児休暇・病気休業等への手厚い配慮もあります。



## ■ 札幌医科大学附属病院の臨床研修

研修医が医師としての第一歩を踏み出すにあたり、プライマリ・ケアを中心とした基礎的知識、技術、態度などの基本的臨床能力を身につけ、患者の心理的、社会的側面を含む全人的医療を身につけることを目的としている。

### ● 2025年度卒業臨床研修プログラム：標準プログラム・周産期プログラム（各コースの研修施設、研修内容など）

コース	1年次	2年次
A	札幌医科大学附属病院	たすきがけ研修病院
B	たすきがけ研修病院	札幌医科大学附属病院
C	札幌医科大学附属病院	

2年間で、内科24週以上、救急12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療、一般外来それぞれ4週以上を研修する。救急研修について、札幌医科大学附属病院等において、三次救急または集中治療で重症患者における急性期の循環及び呼吸管理法を4週以上研修する。周産期プログラムの場合、小児科または産婦人科のいずれかを必修4週と別に4週以上研修する。たすきがけ研修病院での研修期間中は、たすきがけ研修病院のプログラムに従う。

#### 臨床研修に関する医師法の定めについて

診療に従事しようとする医師は、2年以上、都道府県知事の指定する病院等において、臨床研修を受けることとされています。

#### たすきがけ研修とは？

2年間の臨床研修期間のうち1年間、附属病院と共同して臨床研修を行う病院（協力型臨床研修病院）で研修するもの。道内各地の40以上の病院に協力を得ております。

## ■ 札幌医科大学附属病院の専門研修

臨床研修を修了した医師を「専攻医」として受け入れ、内科や外科などの基本診療領域における適切な教育を受けて、十分な知識と経験を持ち、患者から信頼される標準的な医療を提供できるとともに、先進的な医療を理解し情報を提供できる「専門医」を育成するための研修。

附属病院や道内外の関連病院において指導医のもとで実践を積み、専門領域の技術習得を目指す「専門研修プログラム」を設けています。

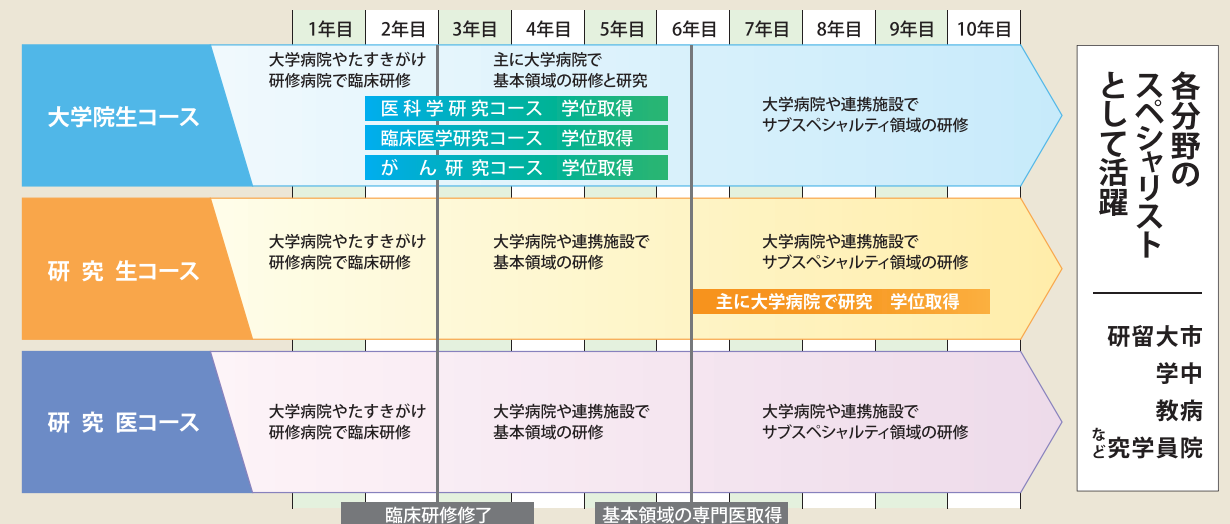
#### 臨床研修後のキャリア形成支援について

附属病院では、内科や外科などの19基本領域全ての専門研修プログラムを設けており、みなさんの希望に沿う柔軟な研修をサポートしています。

#### 専門研修後のキャリア形成支援について

基本領域の専門医（内科専門医、外科専門医等）を取得した上で、2段階目の専門医資格を目指すサブスペシャリティ、別の基本領域の専門医資格取得を目指すダブルボードなど、多様なキャリアパスのサポートを行っています。

## ■ 学位取得を目指すキャリアデザイン

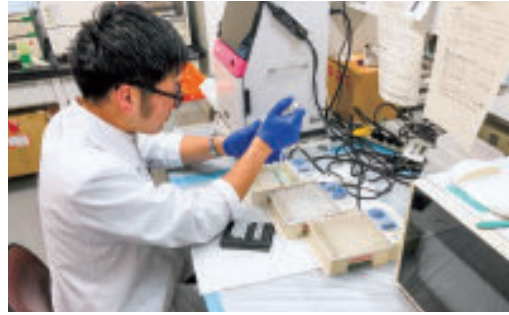




先端医学研究への果てしなき挑戦

札幌医科大学大学院医学研究科では、生命倫理から再生医療まで幅広い分野にそれぞれの専門家を揃え指導にあたります。各授業科目には「医科学研究コース」、「臨床医学研究コース」及び平成30年度からは新たに「がん研究コース」を設置しました。

いずれのコースも幅広い基礎知識を涵養しながら研究を行い、科学的・客観的・論理的考え方を身につけます。研究の素晴らしさを体験し、地域にそして世界に飛躍してください。



医科学研究コース

将来の研究者や教育者を養成し、医学部出身に限らず、医学研究を志す様々な学問分野の学生に対して広く門戸を開放しています。

臨床医学研究コース

地域医療の実践を含めた研究活動を通じて、地域で活躍する高度専門臨床医を養成します。

がん研究コース

がん専門医学の新たなニーズに対応できる優れた「がん専門医療人材(がんプロフェSSIONAL)」を養成します。

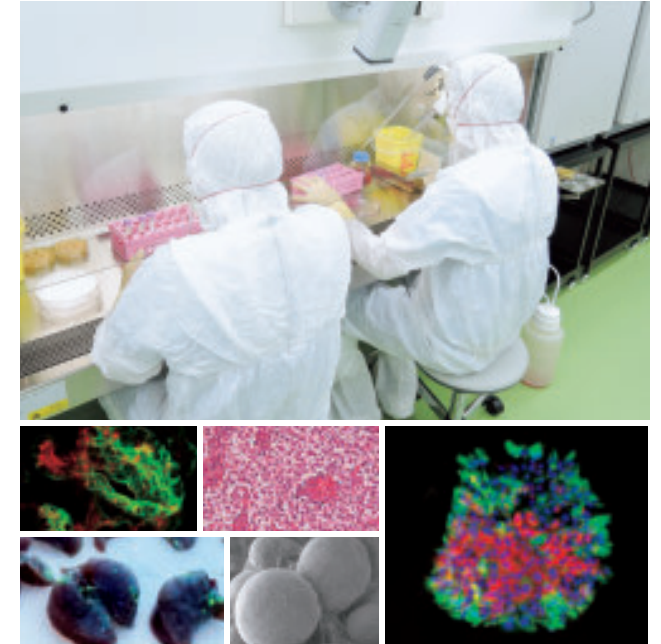
● 3専攻分野 (11領域) (58科目群)

専攻	内科系	授業科目
地域医療人間総合医学専攻	地域医療総合医学領域	環境保健予防医学、公衆衛生学、医療統計・データ管理学、総合診療医学
	人間総合医療学領域	法医学、医学領域知的財産学、臨床遺伝学、リハビリテーション医学、医療薬学、時間感染症学
	発生分化・加齢制御医学領域	消化器病腫瘍学、心血管・腎・代謝病態学、呼吸機能制御医学、呼吸器外科学、発達小児科学、循環腎機能病態学、臓器発生・再生医学、神経再生医療学
	生体防御医学領域	感染防御・制御学、臨床感染症学、侵襲制御医学、生体危機管理学、生体機能制御医学
分子・器官制御医学専攻	臨床腫瘍医学領域	がん治療学、応用血液腫瘍制御学、外科腫瘍学・消化器外科治療学、放射線腫瘍学・放射線医学物理学、緩和医療学
	遺伝子医学領域	ゲノム医学、分子細胞生物学
	分子腫瘍医学領域	腫瘍免疫学、皮膚腫瘍学、腫瘍病理学
	器官機能治療学領域	臨床免疫学、循環機能治療学、整形外科学、婦人生殖器・内分泌治療学、腎・尿路・生殖器治療学、放射線診断学、口腔機能治療学、形態・体表機能再生学、スポーツ医学
情報伝達制御医学専攻	神経科学領域	脳神経機能学、加齢制御薬理学、神経・筋機能病態学、中枢神経機能治療学、視覚機能制御医学、頭頸部腫瘍学、精神行動科学
	生体機能制御学領域	細胞機能情報学、分子医化学、応用分子生物学、臨床病態学免疫制御医学
	生体構造情報学領域	生体分子形態学、生体機能構造学、分子病態生物学、分子細胞科学



先端医学研究の成果を札幌医科大学から世界へ

医学部附属がん研究所(昭和30年設置)、医学部附属臨海医学研究所(昭和43年設置・平成24年3月廃止)及び医学部教育研究機器センター(平成11年設置)の研究部門を再編・統合し、平成23年4月に設置した医学部附属フロンティア医学研究所を、令和5年11月に医学部附属研究所として新たに改編しました。本研究所は、北海道における医療と道民の健康増進に貢献するために、先端医学研究を基盤としてトランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究)を志向し、その研究成果を道民に還元することに加え、若手研究者を育成することを目的としています。3研究所5部門『がん研究所(細胞科学部門)、再生医学研究所(神経再生医療学部門、組織再生学部門)、免疫学研究所(免疫制御医学部門、分子医学部門)』からなり、最先端の医学研究に当たっています。本研究所では、医学部学生の教育指導(第1、2学年授業科目の分担及び第1、3学年の研究室(基礎)配属)のほか、大学院医学研究科の授業科目も担当し、大学院生、研究生の研究指導を行っています。



がん研究所 細胞科学部門

- ヒト正常細胞を用いたヒト疾患の病態解明
- ヒト正常細胞を用いた予防治療の基礎的研究
- 炎症・アレルギー・がんに共通に関与がみられる新規細胞間接着分子の同定
- 肥満によるがんの悪性化機構の解明
- 細胞表面における細胞骨格の役割と制御機構の解明



免疫学研究所 分子医学部門

- シングルセル解析を用いた固形がん微小環境の解明
- 網羅的抗原探索テクノロジー開発
- 腫瘍内免疫応答メカニズムの解析
- 固形がんに対する新規治療標的の同定
- 骨軟部肉腫に対する新規免疫療法の開発

免疫学研究所 免疫制御医学部門

- 濾胞ヘルパーT細胞の分化・機能調節・免疫記憶機構の研究
- 抗原特異的な抗体産生機構の解明
- ヒト免疫病態におけるエピイムノーム(上皮細胞と免疫細胞のクロストーク)の研究
- 癌・免疫・アレルギー病態における機能性リンパ球サブセットの探索と臨床への応用

再生医学研究所 神経再生医療学部門

- 幹細胞の増殖・分化に関する研究
- 幹細胞の分化制御に関する研究
- 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究
- 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究
- 各種脳神経疾患への臨床研究
- 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究 他



再生医学研究所 組織再生学部門

- 肝前駆細胞の増殖・分化・成熟化の機序解明
- 肝前駆細胞及び間葉系細胞移植による肝疾患治療のための基礎的研究
- 内在性肝前駆細胞の活性化機序の解明
- 肝臓の3次元組織構造形成の制御機構についての研究
- 生体外における肝組織の再構築
- 自己免疫性肝胆道疾患の病態解明
- 胆管癌・膵癌の新規治療の開発

## 附属病院



医科系大学附属の総合病院として33診療科、844床の施設を有し、教育研修の場として医師の育成に貢献するほか、高度先進医療や診療体制の整備により道民の要望に応えるとともに、遠隔地の多い本道における地域医療の発展や災害時の受け入れ医療機関として大きな役割を担っています。

また、臨床教育と研究の中核的機能を有するほか、特定機能病院や高度救命救急センター、災害拠点病院（基幹災害拠点病院）、エイズ治療拠点病院（ブロック拠点病院）、がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、がんゲノム医療拠点病院に指定されるなど、本道における中核的医療機関としての役割を果たしています。



札幌医科大学附属病院 病院長  
**渡辺 敦**  
Watanabe Atsushi

札幌医科大学附属病院は、「皆さまに信頼、満足、安心していただける安全で質の高い医療を提供すること」、また「高度な先端医療の研究・開発に取り組み、人間性豊かな優れた医療人の育成に努め、北海道の地域医療に貢献すること」を基本理念として掲げています。

2024年8月に西棟の新築工事および旧棟の改築工事が完成し、これにより当院は848床の病床数と33の診療科、21の部門を備えた新しい体制で新たなスタートを切りました。

新たな施設では、患者さんの治療をより快適かつ効率的に行うため、最新の技術と設備を導入しています。医療Dxに対応した先進的な医療の発展に努め、新たな手術支援ロボット機器や高精度の画像診断機器を備え、安全で質の高い医療の提供に全力を尽くしています。これにより、患者さんに最適な診断・治療を提供することが可能です。

また、地域医療施設への医療従事者の派遣や遠隔医療を含む地域医療への貢献を目指し、より多くの広い地域の方々に質の高い医療を届けることができるようになりました。さらに、チーム医療を深化させた集学的医療、ICT利用による働き方改革の推進、多岐にわたる再生医療、ゲノム・遺伝医療、診療ネットワーク強化に伴う診療連携医療資源の共有、遠隔診療・診療支援・教育なども発展させ提供していく予定です。

医学部、保健医療学部、医療人育成センター、そして附属病院が横軸、縦軸の連携を重視した一体となった教育体制により、次世代の優秀な医療従事者を育成し、地域医療の発展に寄与していきます。これからも、地域の皆さまに信頼され、愛される病院として進化し続けます。



### 診療科一覧

消化器内科／免疫・リウマチ内科／循環器内科／代謝内分泌・腎臓内科／呼吸器・アレルギー内科／腫瘍内科／血液内科／  
脳神経内科／感染症内科／消化器外科／乳腺・内分泌外科／心臓血管外科／呼吸器外科／整形外科／脳神経外科／  
神経再生医療科／婦人科／産科周産期科／小児科／眼科／皮膚科／形成外科／泌尿器科／耳鼻咽喉科／神経精神科／  
放射線治療科／放射線診断科／麻酔科／総合診療科／歯科口腔外科／リハビリテーション科／遺伝子診療科／スポーツ医学科

## 診療系センター

### スポーツ医学センター

スポーツ選手に対する医療は総合医学です。2012年に開設された当センターでは大学病院という特徴を生かし、内科、整形外科、リハビリテーション科、婦人科の医師のほか、理学療法士、薬剤師、看護師が連携できるシステムを構築しています。診療対象はトップアスリートや競技レベルの学校運動部選手です（基本的に医師からの紹介制）。スポーツによるケガはもちろん、内科的な問題や女性特有の問題など、専門性を生かした診療を行っています。日本オリンピック委員会や国立スポーツ科学センターなど国の選手強化拠点とも連携しています。



スポーツ医学センター長  
**渡辺 耕太**  
Watanabe Kota

（ミラノ・コルティナオリンピック選手村で撮影）



オリンピック選手の  
メディカルチェック  
の様子

### 慢性疼痛センター

慢性疼痛センターは、長期にわたり持続する痛みに対して、診療科横断的なアプローチで包括的診療を提供する専門部門です。麻酔科、整形外科、精神科、看護師、理学療法士など多職種が連携し、身体的要因に加え心理社会的側面も踏まえた多面的評価を行い、個々の患者に最適な治療戦略を構築します。薬物療法や神経ブロックに加え、リハビリテーションや認知行動療法を組み合わせ、生活の質の向上を目指します。当センターでは、月1回の多職種カンファレンスを通じた診療の質向上に加え、慢性疼痛診療講演会（年3～4回）やワークショップ（年1回）を開催し、地域医療の底上げと人材育成に取り組んでいます。さらに、厚生労働行政推進調査事業にも参画し、診療データベースの活用を通じて慢性疼痛診療の均てん化と医療の質向上に貢献しています。



慢性疼痛センター  
**山蔭 道明**  
Yamakage Michiaki

### 内視鏡センター

内視鏡センターは、消化器・呼吸器の両領域において、最新鋭の内視鏡機器を用いたがんの早期診断と、体への負担を抑えた低侵襲治療を行っています。胃がんや大腸がん、食道がんなどの早期がんに対しては、以前は外科手術が必要であった病変でも、内視鏡により体を切らずに治療することが可能となっています。さらに、胆道・膵臓の疾患に対しても、内視鏡と超音波を組み合わせた治療により、状態に応じて手術を行わずに対応しています。加えて、肺がんに対しても、光線力学療法などの内視鏡を用いた低侵襲治療を行っています。観察・生検から治療まで一貫して対応し、専門医、メディカルスタッフが連携した体制のもと、安全性に配慮した質の高い医療を提供するとともに、北海道全域から患者を受け入れる拠点として人材育成にも貢献しています。



教授 千葉弘文 (Chiba Hirofumi) 教授 橋本暁佳 (Hashimoto Akiyoshi) 准教授 吉井新二 (Yoshii Shinji)

### 札幌医科大学附属病院 性別不合 (GI) クリニック

実感する性別と出生時に割り当てられた性との間に不一致が認められる状態を性別不合と呼びます。以前は、性同一性障害と呼ばれていたものです。札幌医科大学附属病院では、埼玉医科大学、岡山大学に続く全国3番目の性別不合の治療と診断を包括的に行う中核的医療施設として2003年12月1日に泌尿器科、神経精神科、産科・周産期科、形成外科から構成されるGIクリニックを開設するに至りました。以後、北海道全域から性別不合の診断を求めて1,000名を超える当事者が受診しています。また、札幌医科大学附属病院は、複数のGI学会認定医を擁する認定施設の一つとして、一部の当事者に対してホルモン療法や性別適合手術などの身体的治療を慎重な判断・審査のもとに施行しています。



GI学会施設認定医代表  
**舛森 直哉**  
Masumori Naoya





School of Health Sciences

# 保健医療学部

看護学科

理学療法学科

作業療法学科

生老病死に向き合い、  
常にその人らしくあることができるよう、  
生活に寄りそい健康を支えます。

入学までに学習しておくことが期待される内容

## 1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関する高い基礎学力

1) 人類の文化や自然、社会に関する幅広い基礎学力

保健・医療・福祉は人間を対象に社会の中で営まれる実践です。そのために、文化や自然、社会に関する偏りのない基礎知識が不可欠です。

2) 人々との交流を深め、論理的に思考し表現するための基礎学力

保健・医療・福祉の実践は人々との交流を基盤とします。また、物ごとを多面的に捉えて論理的に思考し、相手に伝えることのできる日本語の能力、国際的視野で考え行動するための外国語力が重要です。

## 2. 他者との連携・協働を必要とする課題に対し、誠実に取り組む姿勢

保健・医療・福祉の実践はチームで取り組みます。他者と連携・協働して何かに取り組んだ経験は専門的実践を学ぶ上での力となります。

## 3. 自らの疑問を解決し、知識を深めるための学習習慣

専門職には生涯にわたる自己研鑽が求められます。疑問を解決するために、また、知識を広げ深めるために、自ら進んで調べ学ぶ習慣を身につけておく必要があります。

## 4. 健康な生活を送るための基本的生活習慣

人々の健康と生活を守るためには、自分の健康に心がけ、しっかりとした基本的生活習慣を身につけていることが不可欠です。



保健医療学部長  
片寄 正樹  
Katayose Masaki

## これからの保健医療を支え創生していく医療人をめざして

保健医療学部は、1983年に開設された札幌医科大学衛生短期大学部を前身とし、1993年に本学保健医療学部として改組設置されました。看護学科、理学療法学科、作業療法学科の3学科に加え、大学院保健医療学研究科および専攻科を有し、医学部、医療人育成センターそして附属病院との強固な連携を背景に我が国における保健医療学部のパイオニアとして発展を遂げています。また、専門性の高い臨床活動の展開や卒業臨床研修にむけ、附属病院との連携による看護キャリア支援センターや理学療法士・作業療法士研修センター、そして看護専門外来やスポーツ医学センターなども整備してきています。保健医療職の学部・大学院・専攻科から卒業教育、キャリア支援そして専門性を活用した臨床環境にいたるプロフェッショナルの涵養を視点にもち、それを実践してきた実績は国内を俯瞰しても先駆的で誇れるものであると考えています。これらの実績をもつ保健医療学部は、2023年に開設30周年を迎えました。これまでの歩みを振り返り、これからの更なる発展の機会とするべく30周年記念誌の発行や記念ホームページを公開しました。

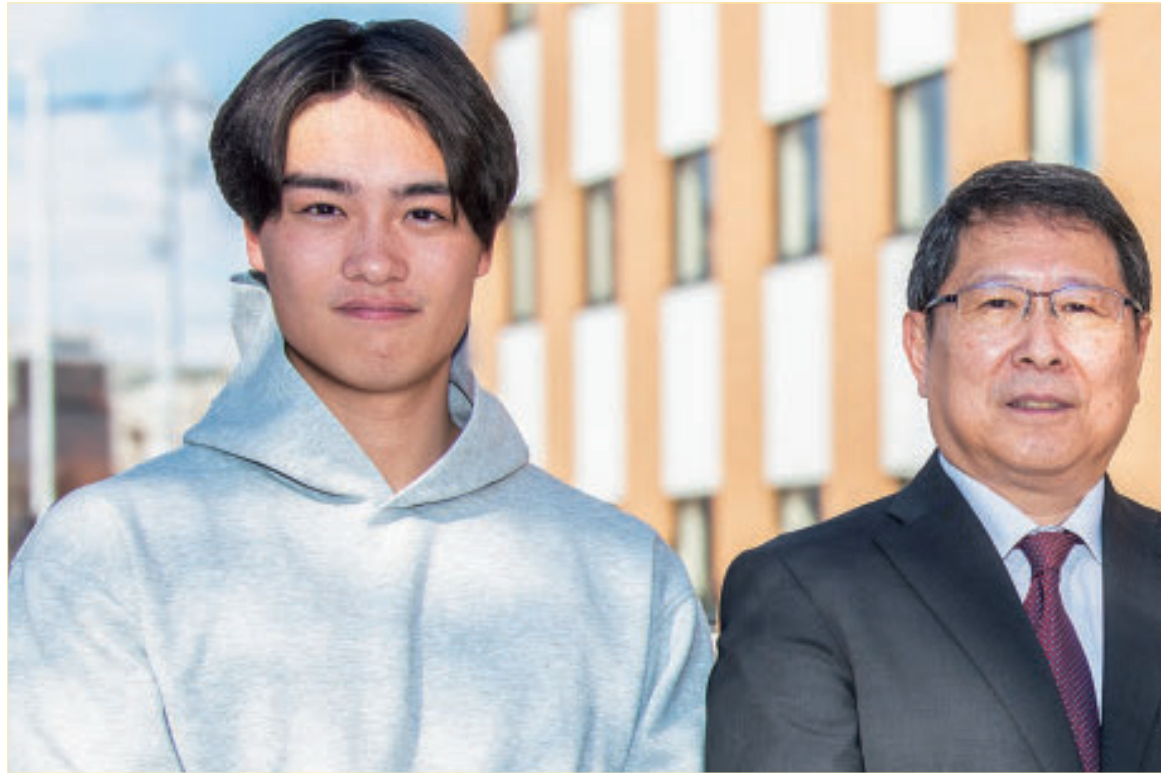
「進取の精神と自由闊達な気風」、「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」という建学の精神を背景に、他職種連携を意識した環境で学んだ卒業生は、北海道の地域医療をはじめ多様化する保健医療の最前線で、高く評価されるリーダーとして活躍しています。また教育・研究機関での保健医療学の攻究や行政機関・企業で活躍する卒業生も少なくはありません。30周年記念HPではこれら卒業生の活躍を紹介しており、本学での学びから羽ばたく保健医療職の活躍を感じ取ることができます。

Covid-19が国内で報告されてから6年が経過しますが、社会システムそして様々な価値観の変容をもたらしました。なかでも健康と生活の質(Quality of Life)の回復そして維持増進のための知と実践である保健医療学の果たすべき多様な役割と専門性が改めてクローズアップされてきたように感じます。本学がもつ卒業生という人財と多様な実績を礎に、最高レベルの医科大学を目指す高い視座の理念で歩む保健医療学部でこれからの社会に応じた保健医療学を学びませんか。進取の精神と自由闊達な気風をもつ教職員そして先輩が、皆さんの入学を心待ちにしています。

# 学部が輩出する

# 将来の医療職とは

保健医療学部長  
×  
学生対談



保健医療学部 学部長  
教授 片寄 正樹  
Katayose Masaki

**【学部長】**札幌医科大学で学生生活を過ごす中で、どんなところに大学の良さを感じていますか？  
**【秋葉】**少人数制であることから学生同士の距離が近く、学生同士で助け合える団結力の強さに大学の良さを感じています。また、演習や実習では教員との距離も近く、疑問や不安をすぐに相談できる温かな学習環境が整っていると感じます。

かな仲間と囲まれ、日々刺激を受けながら学べるこの環境に、学部を選んでよかったと強く実感しています。

## 本学で学んだこと

**【学部長】**本学でどんなことを学び、どんな成長ができたと思いますか。  
**【秋葉】**様々な領域の実習を通して、対象者一人ひとりに合わせた個別性のある看護を学びました。授業で学んだことや演習を重ねる中で看護技術への理解が深まり、根拠を考えながら実践できるようになったことが、自身の大きな成長だと感じています。  
**【渡邊】**理学療法学科は1年生から解剖学、運動学などの専門基礎科目を学ぶことができ、臨床の第一線で活躍する先生方から医学的知識を学ぶことができます。医学部と合同の解剖学実習では実際のご文献で筋肉の走行や関節の構造を3次的に理解することができました。さらに年に一回ある保健医療総論では他学科との交流を通し、多職種連携について学ぶことができました。  
**【千葉】**作業療法士として患者さんと関わる上で、病気や障害だけを見るのではなく、「その人自身」を見て、生活背景や歩んできた人生を知ることの大切さを学びました。これまでの臨床実習を通して、一人ひとりの「その人らしさ」とは何かを深く探求する力が身についたと感じています。

## 研究の意義

**【学部長】**卒業論文についてどう思いますか。  
**【秋葉】**卒業論文は、これまでの学びを振り返りながら、自分自身が関心を持ったテーマについて主体的に探究できる貴重な機会だと感じ



看護学科 第4学年  
秋葉 凛  
Akiba Rin  
札幌東高等学校

**【渡邊】**理学療法学科は人数が20人と少人数であるため、一人ひとりへの授業の提供、教員からの将来に向けての支援が充実していると思います。教員の方々には各分野の最先端の知識を提供していただき、学びたい分野について詳しく知識を身につけることができます。医療の総合大学であるため、医学部、看護学科、作業療法学科の他学部、他学科の学生と関わる機会も多く、多職種連携を学生のうちから深く学ぶことができます。あとは校舎がきれいで清潔感があるところがよいところです。  
**【千葉】**本学科は1学年20人の少人数制であり、グループワークや実技練習では活発に意見を交わし、お互いに改善点を指摘するなど、気兼ねなく意見を言い合える関係性を築くことができます。個性豊



理学療法学科 第4学年  
渡邊 直澄  
Watanabe Naosumi  
札幌旭丘高等学校

ています。文献を調べ、データを整理し、考えを文章としてまとめる過程のなかで、論理的に考える力や根拠をもって看護を考察する力が養われると感じます。看護職として必要な姿勢を身につける大切な学習だと思います。  
**【渡邊】**卒業論文は単なる卒業するための単位ではなく自身の興味のあることに対し、科学的な視点を持ち、検証することで更なる興味と可能性の拡大に繋がるものだと思います。そのため、実用性や研究に現実味があるかどうかは大事ですが、自分の本当に興味のあることを見つけることが大事だと思います。  
**【千葉】**興味のある領域を深く探求できる卒業論文は、非常に学びが多いと感じています。臨床に出てからも根拠に基づいた治療を提供し、スキルを磨き続けるために重要な経験となります。研究の進め方や論文の書き方といった基礎を学ぶことは、将来、質の高い作業療法を実践するための確かな土台になると感じています。

## これからの地域医療

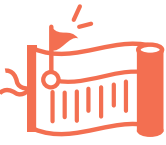
**【学部長】**目指すこれからの地域医療のありかたはどのようなもので

しょうか。  
**【秋葉】**地域で暮らす人々が住み慣れた場所で安心して生活を続けられるよう、多職種が連携し支え合う地域医療が重要だと考えます。その人を取り巻く環境に合わせて社会資源を活用し、入院中から退院後の生活を見据えた継続的な看護を提供することが大切だと思います。  
**【渡邊】**少子高齢化が進み、医療費用が増大している現在、医療専門職による一方的なサポートではなく病気を未然に予防する活動、地域住民同士が助け合えるような介護予防の活性化が必要だと思います。そのような活動に医療専門職に就く者が介入し、高齢者を地域全体で支える社会になってほしいです。  
**【千葉】**単に病気を治すだけでなく、作業療法士として生活環境や地域との繋がりを支え、住み慣れた土地でその人らしい生活を送れるようになることが理想であると考えます。どこに住んでいても、適切な支援に繋がることができ、社会との関わりを断たずに安心して地域生活を続けられる医療体制の構築が求められていると感じています。

作業療法学科 第4学年  
千葉 花  
Chiba Hana  
帯広柏葉高校



歴史と伝統  
全国初!



「保健医療学部」

詳しくは ▶ 040  
ページへ

Focus 1

医療系  
総合大学  
「医・看・理・作」



詳しくは ▶ 041  
ページへ

Focus 2

充実した  
教育・研究環境



詳しくは ▶ 043  
ページへ

Focus 4

附属病院との  
連携・協働体制



詳しくは ▶ 044  
ページへ

Focus 5

今、保健医療学部が  
選ばれる理由。

豊富な教育リソース

{ 少人数教育による  
高度実践力養成 }



詳しくは ▶ 042  
ページへ

Focus 3

全国でも上位の  
国家試験合格率!



詳しくは ▶ 045  
ページへ

Focus 6

高度な  
実践力と多様な  
卒業キャリア!



詳しくは ▶ 046  
ページへ

Focus 7

Focus 1

〈歴史と伝統〉全国初!「保健医療学部」



1983年設立の札幌医科大学衛生短期大学部を前身に、看護学科・理学療法学科・作業療法学科を擁する全国初の保健医療学部として1993年に開設しました。

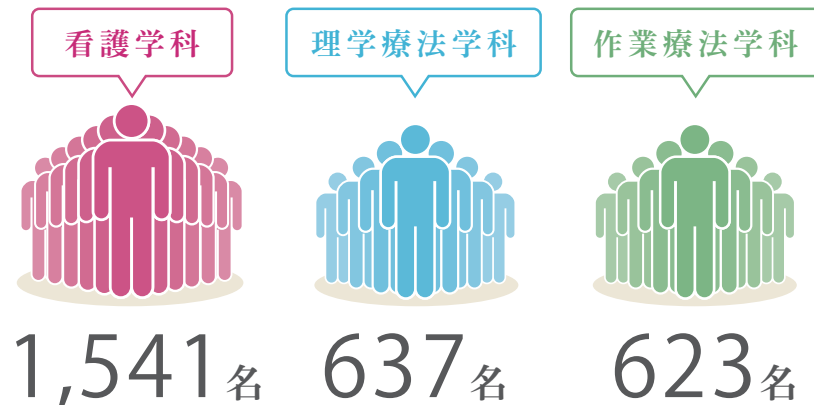
保健医療学部は日本で初めてこの名称を用いた学部で、看護師・理学療法士・作業療法士を養成する道内第1号の大学です。

札幌医科大学の「建学の精神」を受け継ぎながら、意欲的に新しいことへ取り組む気風は、先端的な研究や治療法の開発を含め、他に先駆けて行われてきた様々な取り組みに現れています。

数字で見る保健医療学部

卒業生の総数

これまで多くの卒業生が、看護学・理学療法学・作業療法学の各分野が培ってきた知の体系に基づく専門的な知識と技術を備え、道内を初め全国各地で活躍しています。



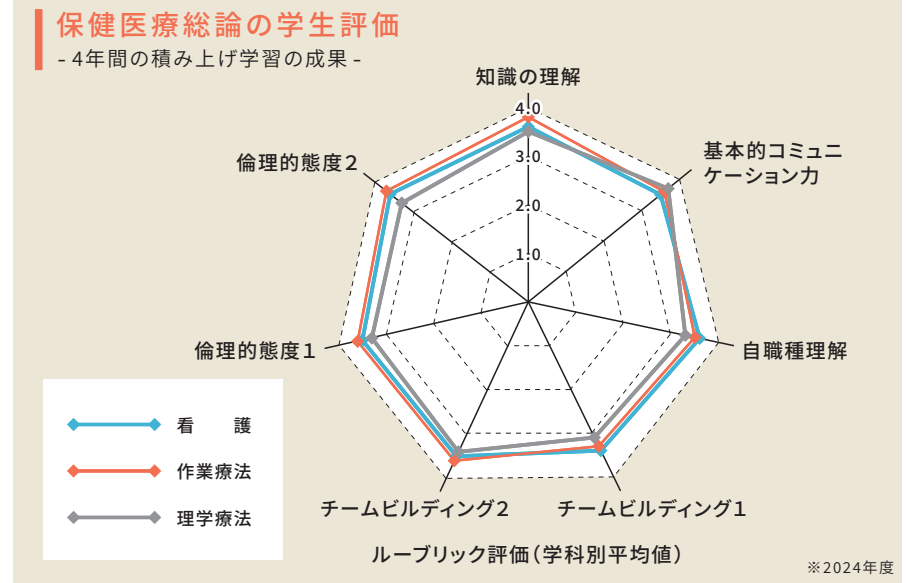
※2026年3月現在

Focus 2

医療系総合大学「医・看・理・作」

医学部医学科および保健医療学部看護学科・理学療法学科・作業療法学科の計4学科が、合同カリキュラムを通して、他の医療専門職の役割と専門性を学ぶことで、将来、医療現場でチーム医療を円滑に実践する力を養います。

また、保健医療学部の必修科目として「保健医療総論1・2・3・4」があります。目的は保健・医療・福祉にかかわる様々な人々と連携・協働するために必要な能力を培うことです。右の図は保健医療総論4終了時点における学生の自己評価を示したものです。



医学部・保健医療学部合同科目・演習



災害教育演習の様子



地域医療合同セミナーの様子

保健医療学部3学科 合同カリキュラムー保健医療総論1-4ー



インタビュー演習の様子(保健医療総論1)



高齢者体験の様子(保健医療総論2)

学生は4年間の3学科合同カリキュラムを通して、「対人コミュニケーション技能」「チーム医療連携技能」「倫理的態度」が積み上げ学習により身につけられたと実感しています。これは卒業後にも就職先で活かされています。

Focus 3

豊富な教育リソース

数字で見る保健医療学部

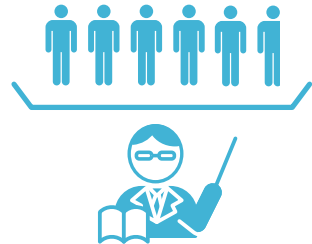
教員1人あたりの学生数

5.6人/1教員



看護学科

5.7人/1教員



理学療法学科



作業療法学科

少人数教育で充実の指導

保健医療学部は、入学定員看護学科50名に対し教員が36名、理学療法学科・作業療法学科20名に対し教員が14名配置されています。

全国的にも類をみない少人数制で、学生一人ひとりの個性や能力を尊重しつつ、実践力を身に付ける教育を行います。

卒業後は、高度な医療を提供できる看護師・理学療法士・作業療法士として北海道の医療を牽引するリーダーを目指します。



数字で見る保健医療学部

研究力の高い教員(競争的資金獲得)

令和7年度 文部科学省科学研究費補助金(科研費)獲得件数と交付総額

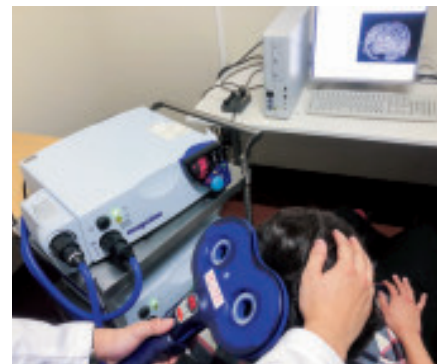
獲得件数

37件

交付総額

1億1,739万円

保健医療学部は、本学の建学の精神である「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」のもと、各専門分野において先進的で積極的な研究活動を行っています。研究活動の評価指標となる文部科学省科学研究費補助金に関しても、高い採択状況となっています。



運動にかかわる脳神経活動計測の様子  
最新の研究機器が揃っています。

Focus 4

充実した教育・研究環境

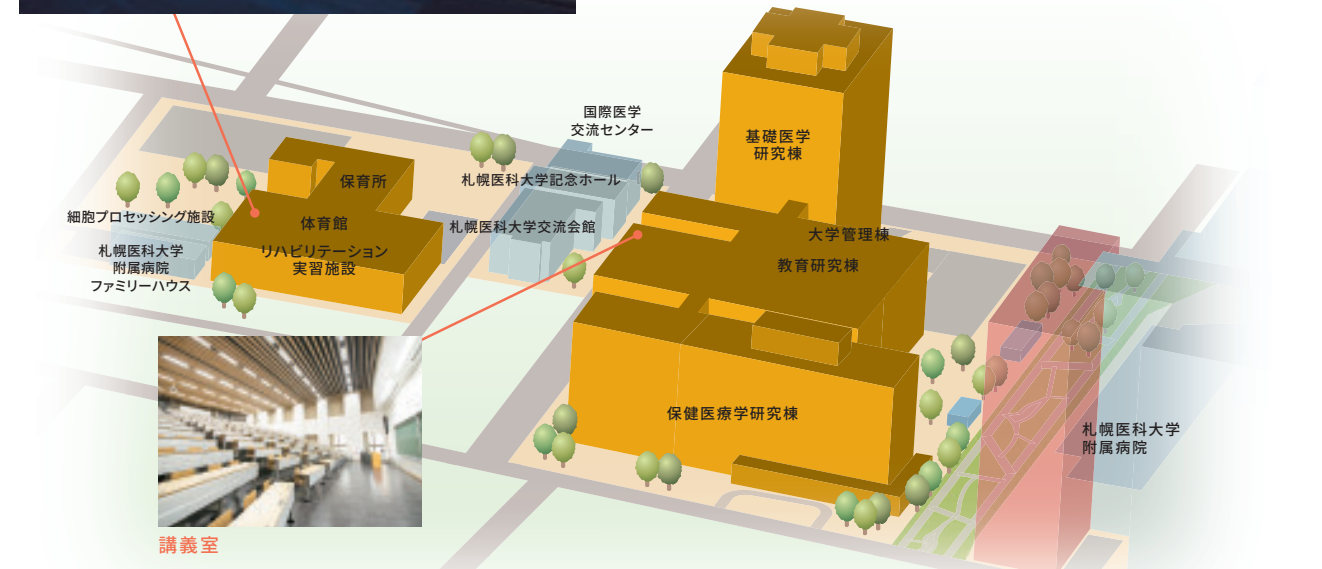
時代の変化に応じた質の高い教育・研究環境を実現するため、学生が自主的に勉学できる演習室や機器設備など、将来的に保健・医療・福祉の充実と各分野の発展に寄与できる専門性と研究力が身につく充実した環境を有しています。



リハビリテーション実習施設  
動作解析室



リハビリテーション実習施設  
作業療法治療室



講義室



看護方法実習室(基本技術)  
技術演習では学生2人に1台のベッドやモデル人形を使用でき、クラス全員が同時かつ確実に技術を修得できます。



ナーシングシミュレーションラボ  
学生が24時間いつでも看護技術の自己学習ができるよう各種機材を取り揃えています。



看護方法実習室(周産期)  
基礎・成人・老年・精神・母性・小児・地域・在宅など看護学の各領域の特性にあわせた演習室を完備しています。



運動学実習室  
特色ある演習室を完備し、理学療法学の多様な領域に対応した教材を用いて、より実践的な専門科目の演習を行います。



生体機能評価学研究室  
理学療法学科では、学部生や大学院生が先端的な理学療法学研究に取り組むための最新の機器や設備を有しています。



在宅生活実習室  
作業療法学科では、実際の日常生活場面を想定した演習室で対象者への介助・支援について学べる環境を整備しています。

保健医療学部  
今、保健医療学部が選ばれる理由

Focus 5

## 附属病院との連携・協働体制

道内最大級の附属病院と連携し、臨床実習だけでなく、卒前・卒後を連結させるキャリア支援を全国に先駆けて行っています。



臨床実習(理学療法学科・作業療法学科)



成人看護実習

附属病院で  
臨床実習

附属病院職員が  
学内演習に協力



作業療法臨床実践法(OSCE)



看護技術総合演習(OSCE)

臨床実習や学内演習において附属病院との連携・協働体制を構築することで、医療従事者の育成に深く関わっています。より実践的かつ専門的な教育や指導を通して卒業後の高度な人材育成に寄与しています。

### 病院と連携してキャリア支援

#### 看護キャリア支援センター



看護学科と附属病院が連携して運営する「看護キャリア支援センター」では、学生の基礎教育から臨床看護師のキャリア支援まで、連携しながら教育体制を構築しています。学内で行われる基礎教育に附属病院の看護師が参画し、学生は現場のリアリティを感じながら臨床実践能力を高め、看護師は基礎教育における学生の学習の準備性を確認しながら教育活動に携わっています。臨地実習前には学生と看護師との交流会、本学学生限定の早期インターンシップ、附属病院の看護師を対象とした研修会など、学生時代から医療の最前線を身近に感じながら学ぶことができます。

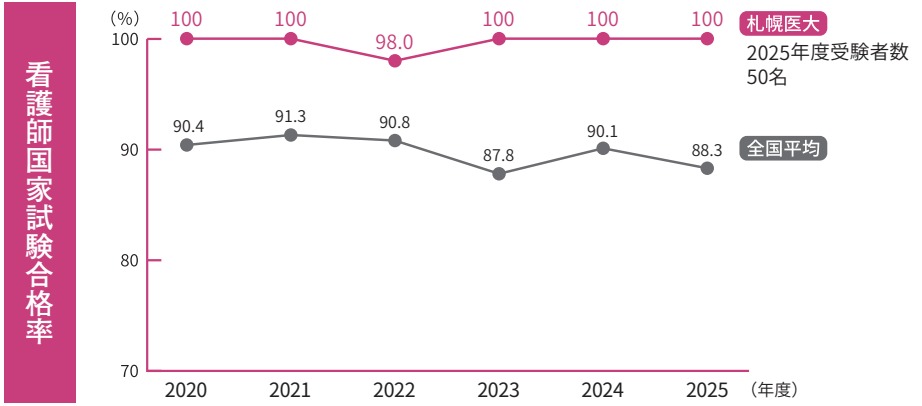
#### 理学療法士・作業療法士研修センター



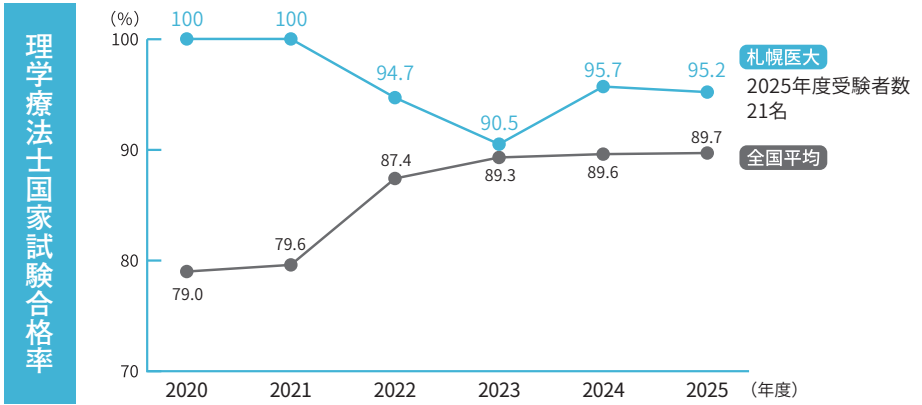
リハビリテーション医療の専門高度化が進み、理学療法士や作業療法士に対する卒後教育の充実が求められている中、札幌医科大学附属病院では全国に先駆けた取り組みとして、平成26年度より理学療法士・作業療法士研修制度を開始しました。先端医療の提供を使命とする大学病院という環境を生かし、関連する様々な診療科と連携し、実践的な診療参加による個別プログラムを提供することで、より高度なリハビリテーション臨床能力の修得を目指しています。研修の終了後には、高い臨床能力を有し、様々な地域のリハビリテーション医療に貢献できる理学療法士・作業療法士を養成する研修プログラムとなっています。

Focus 6

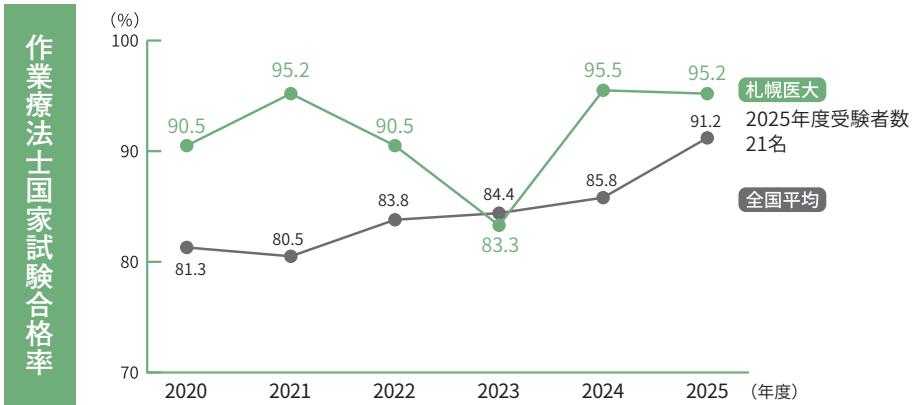
## 全国でも上位の国家試験合格率！



看護学科では、学生が模擬試験の受験予定を計画し、主体的に学習に取り組んでいます。



理学療法学科では、学生自身が毎月の模擬試験の実施とグループ学習の計画を立て、国家試験に向けた学習を行います。



作業療法学科では、グループ学習と個人学習を組み合わせ、模擬試験や学習アプリを有効に活用しながら受験勉強を行っています。

医療界からの高い評価

保健医療学部  
今、保健医療学部が選ばれる理由

## 高度な実践力と多様な卒業キャリア!

本学を卒業した学生たちは、医療施設の他、様々な分野に進んでいます。実践面のスペシャリストやリーダーとして臨床分野を牽引する道、行政機関に進んで医療政策に関わる道、教育機関・研究機関で教育・研究に携わる道、企業で製品開発などを行う道など、多種多様です。

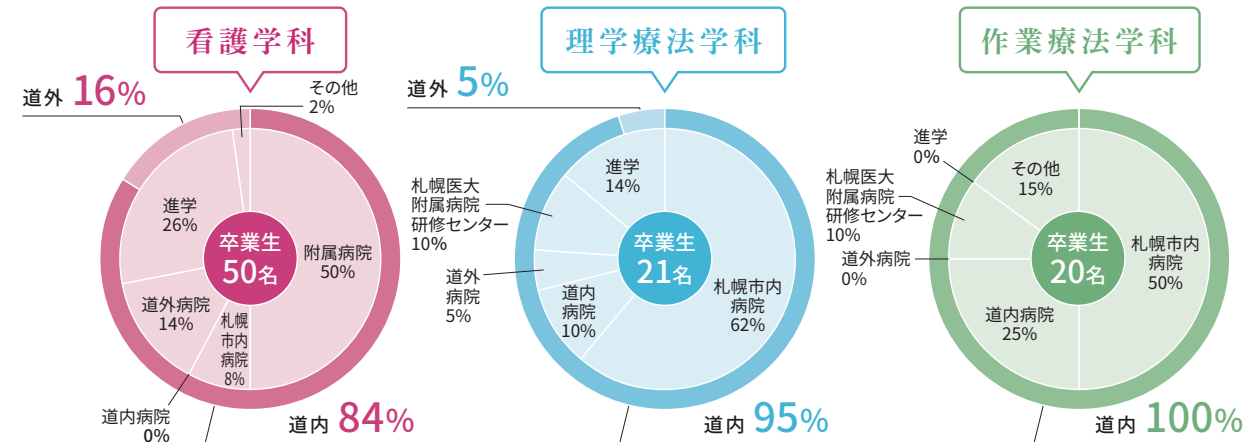
大学で身につけた深い知識と技術、生涯学び続ける姿勢があるからこそ実現できるキャリアです。

### 数字で見る保健医療学部

#### 就職率(2024年度卒業生)

100%  
就職決定率

毎年全国トップレベルの  
就職決定率!

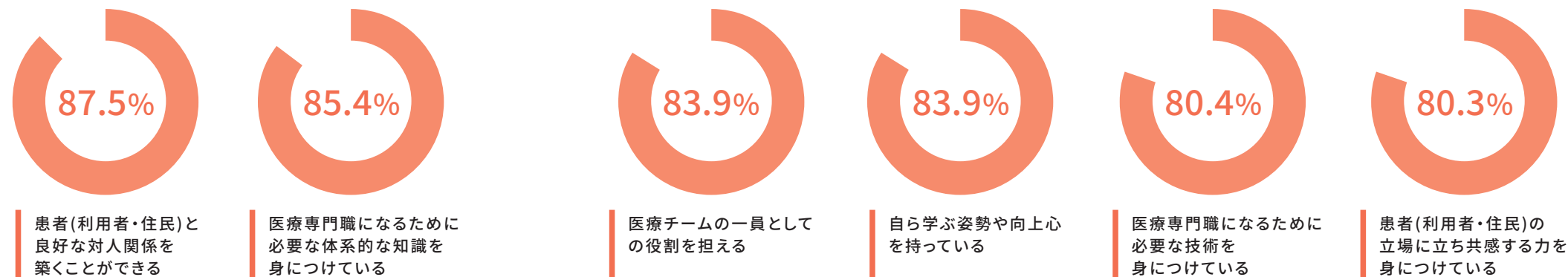


主な就職先	主な就職先	主な就職先
札幌医科大学附属病院 北海道立子ども医療・療育センター 医仁会 中村記念病院 旭山病院 千葉大学医学部附属病院 慶應義塾大学病院 東京科学大学病院 (旧 東京医科歯科大学病院) 国立がん研究センター中央病院 済生会横浜市東部病院 日本医科大学多摩永山病院	札幌柏葉会病院 札幌円山整形外科病院 札幌山の上病院 札幌榎心会病院 華岡青洲記念病院 JCHO 北海道病院 イムス札幌消化器中央総合病院 イムス東京葛飾総合病院 クラーク病院 整形外科北新病院 斗南病院 北斗病院	札幌西円山病院 手稲溪仁会病院 札幌秀友会病院 イムス札幌リハビリテーション病院 北海道大学病院 札幌鈴木病院 林下病院 札幌すがた医院 苫小牧市立病院 室蘭製鉄記念病院

### 数字で見る保健医療学部

#### 卒業生の評価(雇用者から)

本学のカリキュラムに対する総合教育評価において、卒業生が勤務する施設の雇用者から非常に高いコンピテンス評価を得ています。医療専門職者として学ぶ姿勢や責任感、問題解決する能力が非常に高く、今後高いレベルの維持・自己研鑽・リーダーの人材になることが期待されています。





# Message from OB/OG

卒業生が語る「保健医療学部の強み」とは



看護師として働くうえで、  
基盤を形成でき、  
切磋琢磨できる仲間が  
できました。

**加賀 理美**

Kaga Satomi

看護学科

2009年 看護学科卒業 / 小樽潮陵高等学校出身  
札幌医科大学附属病院南10階病棟 副看護師長

私は現在、札幌医科大学附属病院で副看護師長として勤務しています。主にがん患者さんやそのご家族と関わる機会が多く、症状マネジメントや治療による副作用のケア、意思決定支援などを行っています。日々の業務に追われることもありますが、患者さんから学ぶことも多く、やりがいを持って働くことができています。

本学在学中は、看護師としての思考過程、倫理観、疾患の病態生理など、実際に働くうえで必要なことを学ぶことができ、現在の私の基盤になっていると思います。4年間の学生生活の中では、実習やレポートなどで大変なこともありましたが、同期と励まし合いながら乗り越えることができました。苦楽を共にした同期とは卒業後もお互いの悩み事を相談するなど、切磋琢磨できる良い関係が続いています。

看護師は日々命と向き合い、責任も大きい仕事ですが、患者さんとの一期一会の出会いはかけがえのないもので喜びや感動を共有することができる素敵な仕事だと思います。本学で学び経験したことは、社会に出てからも素晴らしい財産となります。未来ある受験生のみなさんが伝統ある本学で学び、看護師として仲間になってくれると嬉しく思います。



医療職としての夢を目指すだけでなく、  
新たな夢を見つけられる環境です。

**平井 佑治**

Hirai Yuji

看護学科

2021年 看護学科卒業 / 北海道札幌北高等学校出身  
千歳市役所、保健師

私は本学の看護学科から公衆衛生看護学専攻へ進学し、卒業後は千歳市役所で保健師として働いています。現在は介護保険分野に携わり、事業所や病院などと連携し、生活の中で介護の困りごとを感じる市民の課題解決や自立に向け、日々業務に取り組んでいます。

在学中は、授業や演習、実習に追われ、大変に思う場面もたくさんありましたが、同期と励まし合い、助け合い、乗り越えた経験は、私の大切な財産です。先生方も学生に寄り添い、疑問と一緒に考えてくださり、新型コロナウイルスの流行時には学びの機会を損なわぬように工夫して授業を行ってくださいました。そんな素敵な大学生活が今の自分を作り、支えとなっています。

私自身、本学に入学するまで保健師は、名称以外は詳しく知らない職業でした。ですが本学で学ぶ中で、看護師と同じ医療従事者でも「治療」ではなく「予防」から健康を目指す保健師の役割を知り、自分の目指す医療職の道を見つめ直すことができました。そして、本学の整った環境で引き続き学べる点も魅力を感じ進学しました。本学には夢を目指すだけでなく、新たな夢を見つけられる環境も揃っています。ぜひ受験生の皆さんも、夢への学びに向けて本学に進んでください。



地域に深く根差した学びと最先端の研究活動を通して、  
未来を支える医療職へ

**赤岩 眞悠**

Akaiwa Mayu

理学療法学科

2019年 理学療法学科卒業 / 札幌開成高等学校出身  
京都大学 先端理学療法学講座 助教

私は札幌医科大学の学士、修士、博士課程を修了後、京都大学の先端理学療法学講座に在籍しています。本学在学中から現在に至るまで、脳に障害のある方に対するリハビリテーションの発展を目指し、ヒトを対象とした研究を実践してきました。私はこの仕事を通じて、自分の興味を深めながら、人の役に立つ研究に携わることができ、大きなやりがいを感じています。

本学の理学療法学科は、急性期医療から地域リハビリテーションまで、そして高齢者から小児までを対象とした幅広い実習を通して、地域に根ざした理学療法を学ぶことができます。1学年20名という少人数制だからこそ、学生同士や教員とのつながりが強く、卒業した今でも、病院・施設・企業など、それぞれの現場で働く仲間と議論を交わし、切磋琢磨できる関係が続いています。

また研究面では、研究分野の第一線で活躍する先生方から直接指導を受けられる環境が整っています。最先端の機器を活用し、あらゆるフィールドの研究活動を通して、幅広い将来の選択肢を切り開くことが出来ます。

皆さんも本学の理学療法学科で、同じ志を持つ仲間とともに学び、未来を支える理学療法士への一歩を踏み出しましょう！



幅広い知識と実践力、そして研究する  
力を卒業後も学び続けられる魅力

**迫 知輝**

Hazama Tomoki

作業療法学科

2016年 作業療法学科卒業 / 小樽潮陵高等学校出身  
社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部作業療法科主任 作業療法士

私は、本学を卒業後、帯広市にある十勝リハビリテーションセンターで勤務し、主に脳卒中で身体の片側に麻痺が生じた方や生まれつき脳などに障害が生じたお子さんへのリハビリを行っています。私は「作業療法の魅力は、医学的観点をいながらその方の生活行為の支援ができること」と考えています。私たちが関わることで、できなかったことができるようになる・大変だったことがやりやすくなるのが、やりがいだと思っています。

札幌医科大学では、作業療法士として現場に出るための必要な知識はもちろんですが、研究に向けた学習も充実していることが魅力だと思います。私は現在、札幌医科大学大学院の修士課程に通っていますが、学生時代より色々な教員の方と研究について触れてきたことがとても影響しています。また、卒業生同士のつながりが強いことも魅力的だと感じています。卒業した後も同じ領域の先輩また教員の方とも勉強会を行うなど卒業した後も継続して学ぶ機会が得られることでいつも刺激を受けながら仕事を行っています。

普段の生活ではなかなか関わる機会が少ない作業療法はイメージしにくい部分もあると思いますが、とても魅力的な仕事だと思っています。

社会のニーズに応える人材育成  
人々の健康と生活を支える看護の基本的能力を養う



看護学科教授  
長谷川 真澄  
Hasegawa Masumi

少子高齢化を見据え地域包括ケアシステムへの転換が進む社会における看護職は、病院での看護だけでなく、地域で生活する人々の健康とその人らしい生活を支える役割が求められます。社会のニーズに応えるには、疾患や治療ケアに関する知識・技術だけでなく、対象者と信頼関係を築くコミュニケーション能力、その人の価値観や人権を尊重する倫理観、他の専門職や機関との連携力が必要です。

看護学科では、1年次から専門科目を開講し、早い段階から看護の実践現場を体験しつつ基礎から応用へと段階的に学ぶカリキュラムで看護に必要な基本的能力の修得をめざします。また学生が自己の目標とその時々の課題を明確にし、主体的に学習に取り組めるよう、少人数制と臨床との緊密な連携を活かしたきめ細やかな指導を行っています。4年次の卒業研究では、学生個々の関心に基づき研究テーマを設定して課題探求に取り組みます。このように目標をもち自己を振り返る習慣や、自ら課題を設定して探求する経験は、看護専門職として生涯にわたり自己研鑽する能力に通じます。

実習先は大学附属病院だけでなく、地域の病院、介護保険施設、保健センター、保育園など、看護の対象者とその生活を幅広く学べるようにしています。また、先輩との交流機会も設けており、将来のキャリアをイメージしながら学ぶことができます。

重症患者と遠方の家族をつなぐ  
— ICT活用型オンライン面会システムの開発を目指して



看護学科講師  
田口 裕紀子  
Taguchi Yukiko

私は附属病院高度救命救急センターの看護師を兼任し、臨床の看護師とともに研究に取り組んでいます。重症患者の治療過程において、家族との面会は患者さんの回復促進と家族のニーズ充足に重要な役割を果たします。しかし、COVID-19の影響で対面面会が制限され、看取りの場面ですら患者さんに会えないご家族や、家族に十分なケアを提供できないことによる看護師の不全感が深刻な問題となりました。この課題に対応するため、私たちは早期に医療者のサポートのもとで重症患者と家族がオンライン面会を実施できる体制を整備しました。その結果、自力で家族と連絡を取ることが難しい重症患者とその家族が、互いの声や表情を届け合うことが可能になりました。

重症患者の多くは都市部の医療機関に集中しており、特に北海道のような広域地域では、遠方に住む家族が頻りに面会することは困難です。コロナ禍を経てオンライン面会の活用は広まりましたが、重症患者に特化したオンライン面会システムは未だ十分に普及しておらず、家族の利便性を考慮した活用には至っていません。

そこで私たちは、「重症患者」と「遠方にいる家族」に特化したオンライン面会システムの開発を目指し、その有用性を検証したいと考えています。この取り組みにより、地域間の医療格差の解消と家族参加型医療の推進に貢献し、最終的にはこのシステムを標準的な医療支援の一環として確立し、より多くの患者さんとご家族を支えることを目指しています。

実践力と問題解決能力を育み、  
多様な分野で活躍するための基礎を学ぶ



理学療法学科教授  
谷口 圭吾  
Taniguchi Keigo

私の専門は理学療法における生体機能評価学です。「理学療法は評価に始まり評価に終わる」と言われており、対象者のもつ障害の実像を解き明かす評価のプロセスは効果的な治療を実践するうえで重要な位置を占めています。本学科では理学療法の主要領域をなす高齢者・地域、小児・発達障害、運動器障害、神経障害および内部障害分野すべての評価と治療を講義・演習のみならず臨床実習を通じてシームレスに学べるのが特徴となっています。

また、学生自身の興味ある研究テーマに基づき、能動的に学修を進める過程で論理的な思考能力を培う科目が設けられています。専門的な知識や技術を身

教授に聞く 本学部の  
今、こんなことをしています

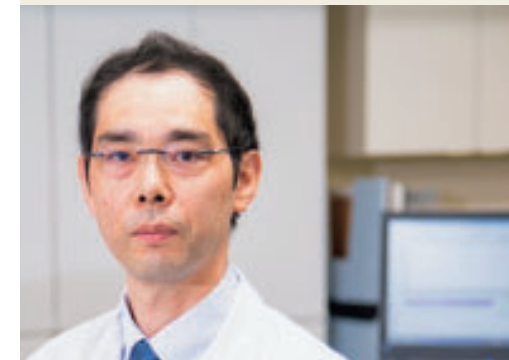
超高齢社会のなかで、効率的に高齢者の健康増進を支える対策が必要です。理学療法学は、高齢期のフレイルやサルコペニアといった、身体の衰えを予防し、日常生活を支える機能をサポートするために有効な学問です。そのため、医療施設でリハビリテーションを必要としている方だけでなく、多くの地域住民、特に地域在住高齢者が、健康増進のために理学療法士を必要としています。

我々は、健康寿命延伸に向けた重要な課題を見つけ出し、データサイエンスの知識と技術を用いて様々なヘルスデータを分析し、エビデンスを



理学療法学科准教授  
井平 光  
Thira Hikaru

データサイエンスの知見から  
科学的根拠に基づく高齢者の健康増進  
を目指す



に付けるだけではなく、自らが主体的に問題点をみつけて科学的かつ創造的に解決する能力を育み、自己研鑽の姿勢を養う環境があることも大きな特色です。このような教育を受けた卒業生が保健医療学分野の指導的な役割を担い、社会や地域のニーズに応える臨床能力を備えた理学療法士、さらにリサーチマインドを有する医療人として活躍しています。

医療現場でのリハビリテーションにとどまらず、行政や教育機関、研究センター、企業など多種多様な分野でスペシャリストとして活躍する多くの卒業生と連携をもち、大学院博士課程、附属病院が併設されている本学で学び、将来のキャリアをデザインしてみませんか。

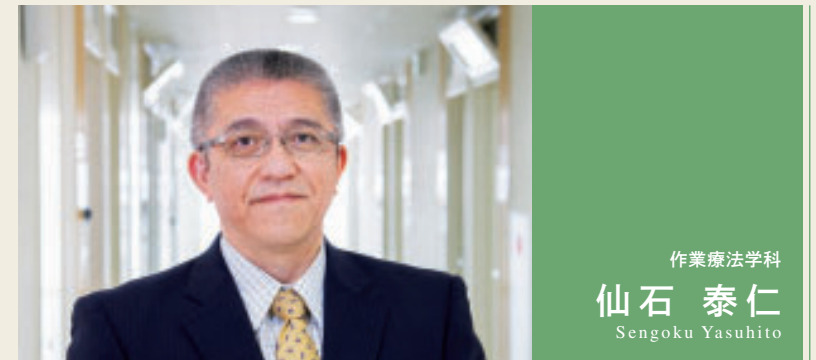
学びの特徴  
教員研究紹介

蓄積すること、さらにそのエビデンスの社会実装することで、有効な対策樹立に役立てることを目指しています。現在、世の中には、様々なヘルスデータが溢れ、集められています。しかし、データサイエンスの技術だけでは、真に必要な健康課題にたどり着けない可能性があり、医療にかかわる専門職の視点と感性が必要です。我々は、理学療法学とデータサイエンスの融合を目指し、研究活動を行っています。また、国立研究開発法人との共同研究を通して、多様な研究成果の発信や人材育成にも取り組んでいます。



を目指す

対象者の生活を守る  
知識と実践力を身につける



作業療法学科  
仙石 泰仁  
Sengoku Yasuhito

作業療法は疾患や障がいによって心身の機能が低下もしくは十分発達できないことで、日常生活や社会的な活動が困難となった際に、必要な機能を高め生活を再建する様々な治療を行うリハビリテーション専門職です。理学療法とは相補的な役割を担っていますが、運動を中心とした基本的な能力に対応するのが理学療法、生活や社会活動の様々な応用的動作や認知・心理機能に対応するのが作業療法と考えることもできます。そのため、大学での学びも解剖・生理といった人体の基盤的な仕組み、内科や外科といった病気の仕組みや医学的な治療に関する知識は理学療法も作業療法も一緒に学んでいます。一方で食事・更衣・入浴などの生活上必要な様々な活動、コミュニケーション・公共交通機関の利用、家計の管理、学校・仕事上の活動など社会との関わりで必要な活動について、それができるためにどのような心身の機能が必要なかを、科学的に分析する方法や治療・援助方法などを学ぶことは作業療法の大きな特徴となっています。特に、本学部では教員の多くが日本作業療法協会の認定作業療法士の資格を保有しており、豊富な臨床経験と優れた知識を背景に実際の治療場面に対応した講義を受けることができます。また、最先端の機材を設置した評価・治療実習室、研究室が完備されており、充実した学習環境の中で学ぶことができます。

目に見えない手の痛みを客観的に解明し、  
自分らしい生活を取り戻すリハビリを



作業療法学科助教  
早崎 涼太  
Hayasaki Ryota

私たちの日常生活において、手は食事や着替えから、仕事や家事、学習、そしてスポーツや楽器演奏といった趣味に至るまで、あらゆる活動を支える重要な役割を担っています。しかし、手は非常に繊細な構造をしているため、骨折や腱鞘炎、変形性関節症など様々な怪我や病気の影響を受けやすく、多くの場合痛みを伴います。手が痛むと、生活が不便になるだけでなく、動かさないことで関節が硬くなり、さらに痛みが強くなるという悪循環に陥ってしまうことが大きな問題になります。

また、痛みの厄介な点は、他人の目には見えないことです。「どれくらい痛いのか」は本人にしからず、感じ方も人それぞれです。そして、「動かすのが怖い」という恐怖心や、「もう以前のように仕事やスポーツができないのではないか」という不安が、脳内で痛みを増幅させてしまうこともあります。このように痛みは多くの問題が複雑に絡み合うため、対象者が抱える痛みの実態を正確に把握することは、非常に難しいのが現状です。

そこで私は、特殊な装置を用いて痛みの強さを電流の数値に置き換え、客観的に測定・分析する手法の確立を目指しています。作業療法の目的は、単に患部を治すことではなく、その人が大切にしている生活や役割を取り戻すことにあります。痛みを客観的に「見える化」できれば、対象者と治療者が痛みの理解を共有でき、「この程度なら動かしても大丈夫」という安心感を持ってリハビリに取り組めるようになります。科学的根拠に基づいた最適な支援を行うことで、一日でも早く痛みの苦しみから解放され、その人らしい豊かな生活を取り戻せるよう、研究を通じて貢献していきたいと考えています。

## Student interview

学生インタビュー

### 入学するために実践してきたこと

#### Q1. どうして札幌医科大学を選びましたか。

【山北】学生に対する教員の数が多く、少人数制で手厚い指導を受けられる点に魅力を感じました。学習環境も整っており、実践的な学びを通して看護師として成長できると考え、札幌医科大学を選びました。

【工藤】地元が札幌で、実家から通いやすいことに加え、学科の人数が20人と少なく、教員との距離が近い環境で一人ひとりが丁寧な指導を受けられる点や、主体的に学べる点にも魅力を感じたためです。

【三木】少人数制での教育で先生方と緊密に関わることができるため、より専門的な学びにつながると思ったからです。また、地域貢献を志す私にとって、地域医療への先進的な取り組みも大きな魅力の一つでした。

す。部活やサークルも活発で先輩との交流も多く、学業と学生生活の両立ができています。キャンパスが綺麗で学習環境も整っており、充実した毎日を送っています。

【三木】勉学に加え、部活動や友人関係、アルバイトなど充実した日々を送っています。専門科目の学習に加え、1年次からの臨床実習を通じて、座学とは異なる現場ならではの貴重な学びを得られる点に魅力を感じています。

#### Q4. 本学の入試は共通テストの科目数が多いですが、どのように勉強してきましたか。

【山北】勉強時間や内容をアプリで記録し、どれくらい学習したかを可視化していました。一週間・一か月の目標時間を設定し、小さな目標を積み重ねて継続しました。友達と競い合うことも大きな励みになりました。

【工藤】演習科目は友人と一緒に問題を解き、教え合いながら理解を深めました。暗記科目は朝と夜に継続して取り組み、3年生の夏休みに入る前には一通り終わらせました。秋以降は予想問題集や過去問を繰り返し解いて対策しました。

【三木】綿密な学習計画を立て基礎固めを徹底しました。毎日制限時間を設け英語長文を解き、共通テストのスピードを意識した演習を行いました。苦手な理数科目は同級生にアドバイスをもらいながら理解を深め、着実に克服しました。

#### Q5. 面接対策はどうやってきましたか。

【山北】自分の思いや考えを紙に書き出し、そこから要点を抜き出して整理しました。練習は学校の先生方に協力してもらい、繰り返すことで自信ができました。集団面接は友達と練習し、形式に慣れることを意識しました。

【工藤】学校の先生や友人に協力してもらい、模擬面接を通して対策しました。グループディスカッションについては、日頃からニュースを確認し、議題を想定して自分の意見を考える練習を重ねました。

【三木】マインドマップを作成して自己分析を行いながら、他者の客観的な意見にも耳を傾け自分の強みや考えを整理しました。また、様々な先生に面接練習をお願いし、質問に対しても自己分析した内容を思い出しながらかくに答えられるよう繰り返し練習しました。



#### Q2. どうしてこの学科を選びましたか。

【山北】家族に医療関係者がいて、幼い頃から医療の現場に憧れを持っていました。また、自分の強みであるコミュニケーション力を活かし、患者様のすぐそばで支える看護師になりたいと考え、看護学科を選びました。

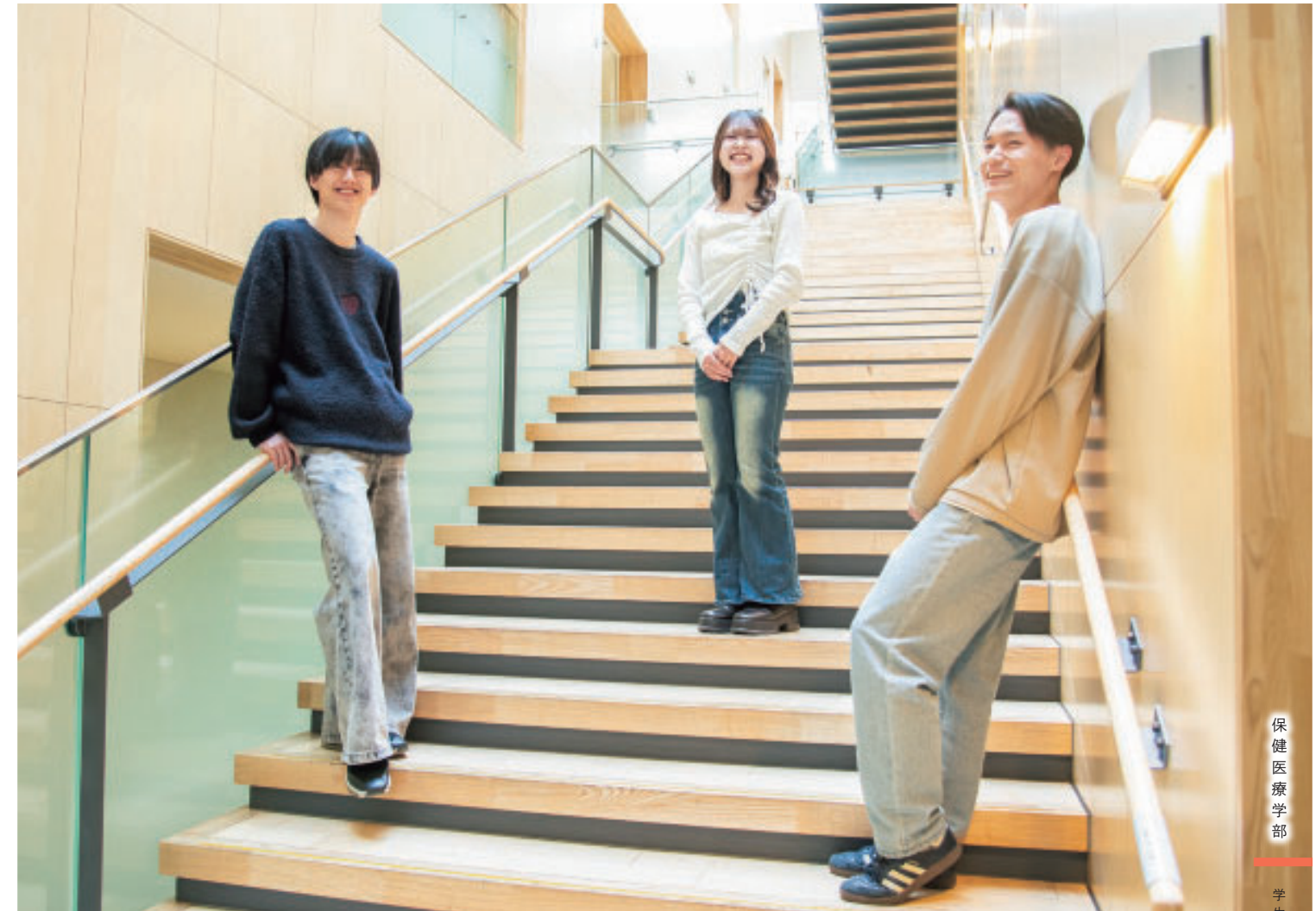
【工藤】運動が好きで、運動と医療の両方に関わる仕事に興味を持ち調べていく中で理学療法士という職業を知りました。人の動きを支え回復に貢献できる点に魅力を感じ、この学科を選びました。

【三木】作業療法士として働く父の職場見学を通し、患者様が自信を取り戻し、社会復帰を目指す姿に感銘を受けたからです。身体だけでなく心にも寄り添い、その人らしい生活を取り戻せるよう支援する姿にやりがいを感じました。

#### Q3. 実際に入学してみてどうですか。

【山北】50人1クラスのため学生同士の結束力が強く、テストや実習を経験するたびに支え合える関係が深まります。男女関係なく仲が良く、安心して学べる環境で、毎日充実した学生生活を送っています！

【工藤】授業はとて分かりやすく、医学を基礎から深く学べてい



保健医療学部

学生インタビュー

#### Q6. 受験勉強中にスランプになったこともあるかと思いますが、どうやって乗り越えてきましたか。

【山北】点数が伸び悩み、やる気が続かない時期もありました。そんな時は焦らず現状を分析し、基礎に立ち返り、志望大学について調べて気持ちを立て直しました。工夫しながら前向きに乗り越えました。

【工藤】物理と数学が得意だったため、調子が落ちた時は得意科目に取り組み自信を取り戻しました。また、友人に悩みを聞いてもらい気持ちを整理し、前向きな気持ちでスランプを乗り越えました。

【三木】模試の判定や周りとの実力差に不安を感じた際は、友人と十分に話して気持ちを整理してから勉強に戻りました。また、先生との面談を重ね、自分の実力を客観的に評価してもらい、明確な対策を立てることで、落ち着いて勉強に取り組むことができました。

#### Q7. 高校生に何かアドバイスをお願いします。学習面でも生活面でもかまいません。

【山北】毎日の積み重ねがとても大切です。2日に1回12時間勉強するのと、1日6時間勉強するのは同じ時間になります。無理のない継続が力になります。自分を信じて、最後まで頑張ってください！

【工藤】勉強は得意科目を活かして自信をつけ、苦手科目はコツコツ続けることが大切です。また、友人と教え合ったり相談することで気

持ちも楽になります。無理をせず、生活リズムを整えて受験に臨んでください。

【三木】私は進路に悩みましたが、自分を信じて勉強を続けることで道は広がると感じました。模試や定期試験にも全力で取り組み、壁にぶつかったときは家族や先生、友人に相談し、健康に気を付けながら自分のペースで努力を続けてほしいです！



取得できる資格

■ 看護師  
(看護師国家試験受験資格)



学科サイト



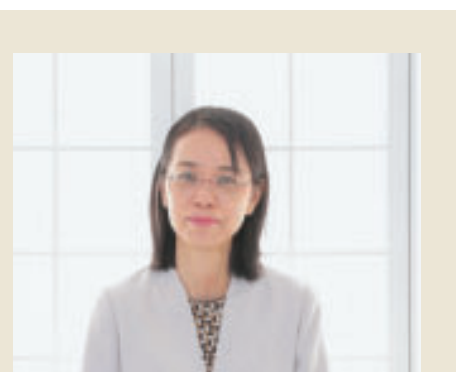
ここからはじまる看護専門職としてのキャリア  
— 命と健康を守り生活を支える —

### 看護学科の強み

- 1 少人数制を活かした共同学習により能動的に学ぶ姿勢とコミュニケーション力を育成
- 2 1学年前期から看護専門科目を配置した看護実践能力を育むカリキュラムと充実した学習環境
- 3 臨床と教育の連携により医療現場を身近に感じながら学ぶことができる指導体制
- 4 一連の研究過程の実践から科学的根拠にもとづき看護の専門性を追求する研究能力を育成



2021年度、本学科は一般財団法人日本看護学教育評価機構より、看護学教育評価基準に「適合」と認定されました。



看護学科長  
今野 美紀 Konno Miki

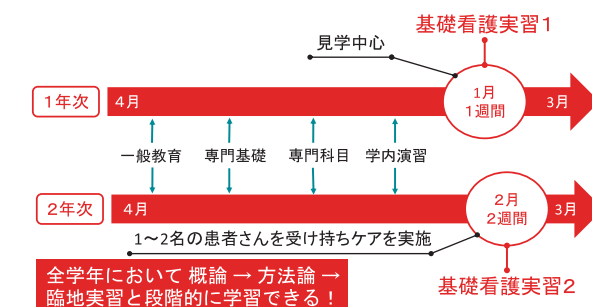
看護は生命と健康を守り、生活を支える活動です。これを高いレベルで実現する為の本学科の特徴として、1学年50名の少人数制をとっています。皆さんは仲間と切磋琢磨しながら、対人関係を日常的に育むことができます。隣接する附属病院看護部と連携した教育活動が多数あり、研鑽を重ねている専門職から学ぶ機会があります。そして本学には専攻科助産学専攻、公衆衛生看護学専攻、大学院保健医療学研究科が設置されており、卒業後も専門性を探求し、学際的に学ぶ機会があります。本学科は、皆さんが北海道、日本、そして世界の看護に貢献する実践者、教育者、研究者となれるよう努めております。一緒に、この先の看護を創造しましょう。

### Curriculum

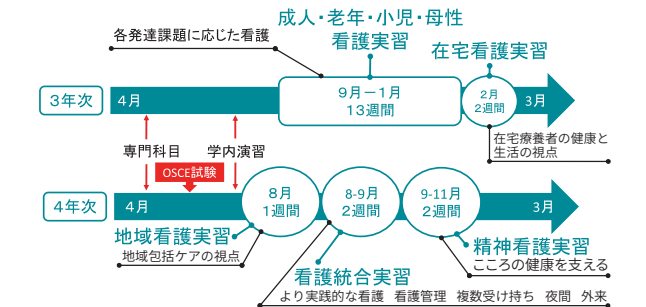
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
一般教育科目	基礎セミナー 社会学概論 英会話 実践英語 など	教育学 文化人類学 国際関係論・国際協力論 保健医療英語 など	アカデミック英語	アカデミック英語
専門基礎科目	解剖学 生理学 人間関係論 リハビリテーション概論 など	人間発達学 疾病治療論 疫学 健康管理論 など	保健福祉行政論	健康教育の学習
専門科目	看護学概論 基礎看護方法1・2 ヘルスアセスメント1   採血の演習	基礎看護方法3・4 ヘルスアセスメント2 看護倫理 成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 在宅看護学概論 地域看護学概論 など	成人看護方法 老年看護方法 母性看護方法 小児看護方法 在宅看護方法 地域看護方法 精神看護学概論 など	精神看護方法 看護安全管理論 看護管理論 看護教育論 看護政策 国際保健医療・看護 認知症ケア 災害看護論 看護情報活用論 など
臨地実習	基礎看護実習1 (1週間)	基礎看護実習2 (2週間)	成人看護実習1・2 老年看護実習1・2 母性看護実習 小児看護実習 在宅看護実習	看護統合実習 精神看護実習 地域看護実習
統合学習	保健医療総論1 地域医療合同セミナー1 北海道の生活と健康	保健医療総論2 地域医療合同セミナー2	保健医療総論3 看護学セミナー キャリアデザイン	保健医療総論4 看護学研究1・2 看護技術総合演習 (OSCE)

### 看護学科の特色的カリキュラムを Pick Up!

#### 【臨地実習(1~2年次)】

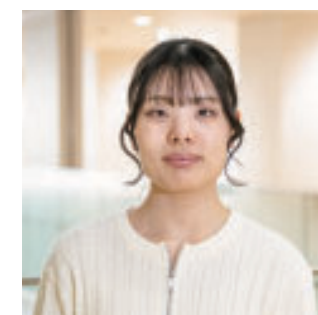


#### 【臨地実習(3~4年次)】



看護学を体系的に学び、実習に集中できる学習環境にあります。基礎看護実習1・2は札幌医科大学附属病院で実施します。

実習施設との緊密な連携と少人数制を活かして、きめ細やかな指導体制を実現しています。札幌医科大学附属病院を中心に、各専門領域の外部実習施設は全て札幌市内です。道内の保健センター等で地域看護を学びます。



増田 珠優  
Masuda Miyuu  
看護学科(2024年入学)  
室蘭栄高等学校出身

札幌医科大学の魅力は、質の高い授業にあります。演習では2人で1台のベッドを使用し、一人一人が丁寧に学べる環境が整っており、実際に手を動かしながら理解を深めることができます。また、グループワークなど能動的な学習が多く、自ら考え、意見を共有する力を養います。さらに、様々な立場の当事者の方と関わる機会もあり、現場につながる実践的な視点を身に付けることができます。日々の課題や試験は大変なことも多いですが、少人数だからこそ学生同士が協力し、高め合いながら乗り越えています。私自身、卒業後は保健師として北海道の地域医療に関わることが目標です。目標に向かって学習を進めるにつれ、少しずつ自分の成長を感じられる瞬間が増えていきます。受験勉強は大変ですが、その努力は大学生活で必ず生きていきます。頑張ってください!

#### ● 第2学年後期時間割(例)

	月	火	水	木	金
1講目			疾病治療論2	老年看護学概論	
2講目	小児看護学概論	ヘルスアセスメント2	災害医療・保健活動論	看護倫理/在宅看護学概論	成人看護方法1
3講目		母性看護学概論		疾病治療論4	基礎看護方法4
4講目	疾病治療論3	疾病治療論3		疾病治療論4	

取得できる資格

■ 理学療法士  
(理学療法士国家試験受験資格)

学科サイト



## 最先端で活躍するスペシャリストを養成 理学療法 NEXT STAGEへ!

### 理学療法学科の強み

- 1 各専門領域に国内トップレベルの専任教員による先進的な教育環境
- 2 少人数による問題解決型教育 シームレスな臨床教育による実践力育成
- 3 大学院への高い進学率 卒後の臨床研修環境を整備
- 4 多岐にわたる分野で活躍する卒業生 教育・研究機関、福祉・行政、企業など



理学療法学科長  
**菅原 和広** Sugawara Kazuhiro

理学療法学科の特徴は、医学部との連携による充実した基礎医学教育と、最新設備を活用した実践的専門教育にあります。私たちは近年の理学療法士に求められる①確かな医学的知識と高度な理学療法技術の習得、②科学的思考力と研究能力の涵養、③地域医療に貢献できる能力の育成に尽力しています。これらを達成するために、少人数教育によるきめ細やかな指導のもと、段階的に専門知識と技術を修得できるカリキュラムを展開し、北海道の地域医療の課題に応える人材を養成しています。

### Curriculum

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
一般教育科目	基礎セミナー 物理学 心理学概論 社会学概論 統計学 トレーニングとスポーツ 英会話 実践英語 など	教育学 国際関係論 家族関係学 保健医療英語 アカデミック英語 など		
専門基礎科目	解剖学 生理学1・2 運動学1 病理学 リハビリテーション概論 人間関係論 など	解剖学実習 神経科学の基礎 生理学3 運動学2 運動生理学 人間発達学1・2 内科学1・2 神経内科学 外科学 整形外科学 小児科学 精神医学1 老年医学 救急医療総論 災害医療・保健活動論 など	社会福祉学 社会保障論 臨床心理学 臨床栄養学 臨床検査・薬理学 リハビリテーション医学 など	
専門科目	理学療法概論 	身体適応学 日常生活活動学 理学療法評価診断学1・2 運動器障害理学療法評価学 神経障害理学療法評価学 内部障害理学療法評価学 など	運動器障害理学療法学・演習 神経障害理学療法学・演習 内部障害理学療法学・演習 発達障害理学療法学・演習 高齢者理学療法学 地域理学療法学 義肢装具学 物理療法学 日常生活活動学演習 理学療法基礎セミナー1 理学療法管理・政策学 理学療法研究法 生活環境学 など	理学療法治療学・演習 
臨床実習	臨床実習1 (見学)	臨床実習2 (検査・測定)	臨床実習3 (高齢者・小児発達障害領域)	臨床実習4 (運動器・神経・内部障害領域)
統合学習	保健医療総論1 地域医療合同セミナー	保健医療総論2	保健医療総論3 キャリアデザイン	保健医療総論4

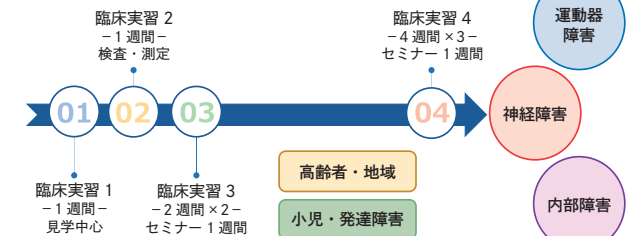
### 理学療法学科の代表的カリキュラムを Pick Up!

#### 【体系的かつ高度な理学療法の実践教育】

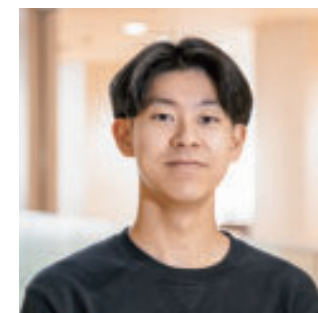


理学療法学科では、1・2年生において人間科学としての基礎概念を学びながら、診断学の講義と連動した各専門領域の評価学の演習を通して、実践的な知識と技術の定着を図ります。3年生では理学療法評価に基づいた治療法と手技を習得しつつ、地域・在宅系や福祉・行政なども見据えた広い視野を養います。これらの知識や技術は、理学療法の実践領域を実践的に学ぶ4年生の臨床実習の経験に繋がります。  
(左部写真:運動学1)

#### 【全ての専門領域を経験できる 臨床実習(1~4)】



理学療法学科の臨床実習では、1年生における見学実習、2年生における検査・測定実習を経て、3年生には高齢者・地域領域と小児・発達障害領域の実習を行います。さらに4年生では、運動器障害・神経障害・内部障害の3領域の実習を行います。これは、他の養成校に導入されていない本学科の代表的な実習スタイルです。



**中津川 倭丸**  
Nakatsugawa Imaru  
理学療法学科(2024年入学)  
札幌第一高等学校出身

私は附属病院をもつ札幌医科大学ならではの充実した教育環境の中で、医学を基礎から学ぶことができるという点や様々な分野で活躍している卒業生が数多くいる点に魅力を感じ、札幌医科大学への進学を目指しました。入学後は、1年生から臨床実習があり、早くから実際の臨床現場に触れることで座学では得ることのできない実践的な知識と技術を身につけることができます。2年生の現在では、講義で学んだ知識をもとに、検査・測定実習で理学療法士として欠かせない技術の習得に励んでいます。さらに、専門的な知識や技術だけでなく、医療人としての倫理観や人とのコミュニケーションなど、人としても成長することができます。皆さんを札幌医科大学でお待ちしています!

#### ●第2年後期時間割(例)

	月	火	水	木	金
1講目			外科学	日常生活活動学	理学療法評価診断学2
2講目	神経内科学	運動器障害理学療法評価学	内部障害理学療法評価学	身体適応学	理学療法評価診断学2
3講目	内科学2	運動学2	神経障害理学療法評価学	精神医学1	
4講目	神経科学の基礎	運動学2		精神医学1	
5講目		老年医学			

# 作業療法学科

Department of Occupational Therapy

取得できる資格

■ 作業療法士  
(作業療法士国家試験受験資格)



学科サイト



臨床でのリーダーを育成する実践教育、  
時代が求めるプロフェッショナルへ。

## 作業療法学科の強み

- 1 高い専門性と充実した指導体制
- 2 多領域を経験できる実践教育
- 3 先駆的な多職種連携教育・カリキュラム
- 4 卒業生の多彩なキャリア  
—教育・研究・地域・世界で活躍—



作業療法学科長  
中村 真理子 Nakamura Mariko

作業療法士 (Occupational Therapist, OT) は、病気や障害によって日常生活や社会活動に制約のある人々が自立した生活を送れるよう、作業や活動を通じて支援する専門職です。私たち札幌医科大学保健医療学部作業療法学科では、対象者の生活機能全体を、対象者を取り巻く環境にも目を向けながら、科学的・創造的に思考し探求できる専門的知識と技術を教授し、医療機関や福祉施設のみならず、対象者が生活する地域の中で作業療法を実践できる人材、将来的に臨床で指導的な立場を担える人材、研究者として作業療法を通じて保健医療に貢献できる人材を育成していくことを目指しています。

## Curriculum

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
一般教育科目	基礎セミナー 社会学概論 統計学 実践英語 など	心理学概論 情報科学 英会話	保健医療英語 国際関係論 教育学 倫理と哲学 アカデミック英語 A・B など	
専門基礎科目	解剖学 生理学1・2 運動学1 リハビリテーション概論 人間関係論 病理学 など	解剖学実習 運動学2 神経内科学 精神医学1・2 小児科学 など	生理学3 内科学1・2 整形外科学 小児科学 など	運動生理学 臨床栄養学 臨床検査・薬理学 社会福祉学 臨床心理学 など
専門科目	作業療法概論 基礎作業学1	発達障害作業療法学 日常生活適応学 作業療法評価学1・2	身体障害作業療法学・治療学 精神障害作業療法学・治療学 発達障害作業療法学・治療学 高齢期作業療法学・治療学 地域作業療法学・演習 作業理論と評価 作業療法臨床実践法 (OSCE) 1・2 作業療法管理学 職業リハビリテーション学 など	作業療法学研究 (卒業論文) 作業療法治療学総論
臨床実習	臨床実習1	臨床実習2	臨床実習3	総合臨床実習1・2・3 臨床実習4
統合学習	保健医療総論1 地域医療合同セミナー1	保健医療総論2 地域医療合同セミナー2	保健医療総論3 地域医療合同セミナー3 キャリアデザイン	保健医療総論4

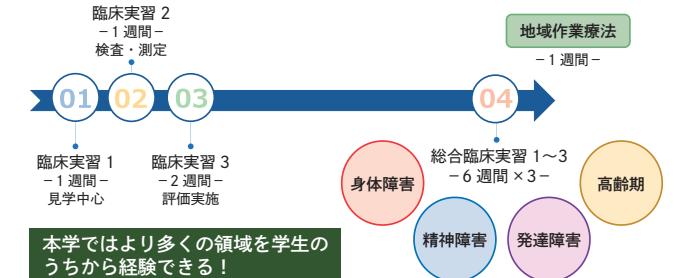
## 作業療法学科の代表的カリキュラムを Pick Up!

### 【作業療法臨床実践法 (OSCE)】

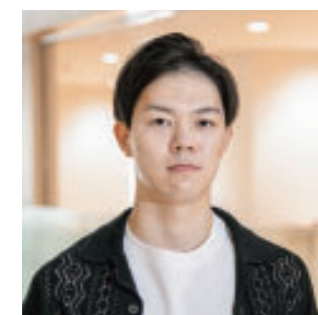


学外実習をよりよいものにするためのカリキュラムとして、「作業療法臨床実践法」では、臨床実習に行く前に実習に行くための知識技術が身についているかを確認するための試験ならびに学習を行っています。

### 【系統立てられた臨床実習 (1～総合臨床実習)】



1年生から4年生の実習で7つの施設や地域に実習に行くため、作業療法のすべての領域を経験することが可能となります。これは、今後の進路・就職先を考える重要な経験になり、臨床に出て作業療法士になっても多様化する社会のニーズに対応していく上での貴重な学習経験になります。



渡部 莉功  
Watanabe Riku  
作業療法学科 (2024年入学)  
札幌南高校出身

私は札幌医科大学の魅力な点を2つ紹介したいと思います。  
1つ目は、他職種連携やチーム医療の根幹を学ぶことができる点です。札幌医科大学では、複数の講義で他職種連携やチーム医療をテーマとした授業が行われています。様々な視点から他職種について理解を深めることが出来る点も、チーム医療における作業療法士の役割とは何なのかを深く学ぶことができていると感じています。  
2つ目は、学科の人数が20人と少なく構成されている点です。生徒の人数が少ないため、質問ができにくいなどの不都合が起きにくい点です。また、先生方は臨床経験がある各領域のエキスパートであるため、実践的かつ専門的な講義を受けることができています。  
最後になりますが、札幌医科大学は作業療法士になるためには充分すぎる程の環境が整っていると思います。皆さんと本学で共に学べることを心から楽しみにしています!

### ●第2学年後期時間割 (例)

	月	火	水	木	金
1講目				作業療法評価学2	作業療法評価学2
2講目	神経内科学		災害医療・保健活動論	保健医療統計学	作業療法評価学2
3講目	内科学	運動学2		精神医学1・2	基礎作業学2
4講目	神経科学の基礎	運動学2		精神医学1・2	基礎作業学2
5講目		老年医学			基礎作業学2

# 大学院保健医療学研究科 Graduate School of Health Sciences



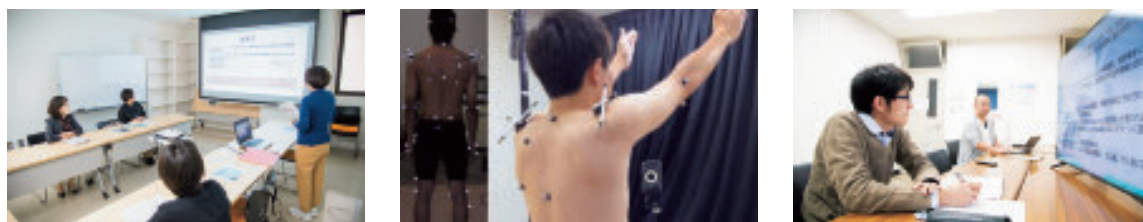
研究科サイト



## 保健医療人としてより高度な専門職を育成

### 保健医療学研究科の強み

#### 1 保健医療学研究のトレンドを反映 多様でユニークなカリキュラム



女性健康看護学特論演習

スポーツ理学療法学特論

中枢神経機能障害学特論演習

多様なニーズに対応可能なプログラムの充実を図り、専門分野の学問・学術活動の発展を目指した指導体制を整えています。

#### 2 働きながらの学びをサポート 長期履修制度

**長期履修制度:** 博士課程前期では4年間で2年分、後期では6年間で3年分の授業料を支払う設定となっています。  
**大学附属病院の非常勤職員:** 大学院生の就学支援の一環として設定された大学院直接進学者の支援制度です。

#### 3 学生支援(修学資金のサポート) 授業料減免・分納制度、奨学金制度

学費の支弁が極めて困難な学生に対して、授業料の減免・分納や奨学金を貸与する制度などがあります。

	博士課程前期(修士)	博士課程後期(博士)	
看護学専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>●修士論文コース</li> <li>基礎看護科学</li> <li>感染看護学</li> <li>女性健康看護学</li> <li>小児健康看護学</li> <li>成人健康看護学</li> <li>老年健康看護学</li> <li>精神看護学</li> <li>地域看護学</li> <li>臨床内科学</li> <li>臨床外科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門看護師コース</li> <li>クリティカルケア看護</li> <li>小児看護</li> <li>精神看護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎看護科学</li> <li>感染看護学</li> <li>女性健康看護学</li> <li>小児健康看護学</li> <li>成人健康看護学</li> <li>老年健康看護学</li> <li>精神看護学</li> <li>地域看護学</li> <li>臨床内科学</li> <li>臨床外科学</li> </ul>
理学療法学・作業療法学専攻	<ul style="list-style-type: none"> <li>神経・発達障害理学療法学</li> <li>生体工学・スポーツ整形外科学</li> <li>スポーツ理学療法学</li> <li>高齢者・地域健康科学</li> <li>筋機能制御学</li> <li>生体機能評価学</li> <li>生体システム解剖学</li> <li>感覚統合障害学</li> <li>中枢神経機能障害学</li> <li>活動能力障害学</li> <li>臨床精神・脳機能学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害リハビリテーション学</li> <li>神経・認知機能治療学</li> <li>作業科学</li> <li>地域生活科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神経・発達障害理学療法学</li> <li>生体工学・スポーツ整形外科学</li> <li>スポーツ理学療法学</li> <li>高齢者・地域健康科学</li> <li>筋機能制御学</li> <li>生体機能評価学</li> <li>生体システム解剖学</li> <li>感覚統合障害学</li> <li>中枢神経機能障害学</li> <li>活動能力障害学</li> <li>臨床精神・脳機能学</li> </ul>

博士課程前期(修士): 専門分野における研究能力と高度な専門性を要する職業等に必要能力を養成します。  
 博士課程後期(博士): 専門分野において自立した研究活動を行い、高度で専門的な実践能力の獲得を目指します。

#### 4 最適かつ最新の教育・研究環境 専用の設備と充実した研究フィールド



生体機能評価学

感覚統合障害学

大学院生用 自習室

本研究科では、保健医療学研究棟をはじめ、附属病院やリハビリテーション実習施設を研究フィールドとして活用することも可能です。また、大学院生のための自習室が整備され、室内には専用PCが完備されています。

#### 5 TA・RA制度 教員・研究者となるためのトレーニング

##### ティーチングアシスタント制度(TA制度)

学部学生等に対する演習や実習の教育補助業務を通して、大学院生の教育に関するトレーニングの機会を提供します。

##### リサーチアシスタント制度(RA制度)

大学院生を研究補助者として、大学が行う研究プロジェクトや自身が所属する研究室の研究業務に参画する制度です。



基礎看護科学特論

大学院生とのミーティング

# 助産学専攻

Graduate Course in Midwifery



専攻サイト



## 創造性に富む人間性豊かな助産師の育成

### 助産学専攻の強み

- 1 道内就職率100% (2024年度)、  
北海道の周産期医療を支える
- 2 全道各地での豊富な実習経験
- 3 医療系総合大学にある専攻科としての教育環境
- 4 全国各地の助産師を志望する入学生を  
受け入れてきた実績
- 5 北海道の助産師を確保する社会人入試

## 開設以来、助産師国家試験合格率100%!

開設: 2012年4月1日  
 修業年限: 1年  
 入学定員: 15名  
 選抜区分: 一般入試、地域社会人特別推薦入試

### 取得できる資格

- 助産師国家試験受験資格
- 受胎調節実地指導員申請資格
- 新生児蘇生法 (NCP) 専門コース (Aコース) 修了認定申請資格



教授  
正岡 経子 Masaoa Keiko

### 子育て家族を医療機関入院中から退院後も継続して支援し続ける志のある助産師を育てます。

助産学専攻は、開設から15年目となります。現在、子育て家族と女性の健康課題は山積しており、助産師には広く役割を果たすことが期待されています。本専攻科は1年間の教育課程の中で、基礎的な実践能力を持った助産師を育成したいと考えています。助産師が行う実践とは、ローリスク妊産婦だけではなく、高度医療が必要なハイリスク妊産婦へのケア、医療機関でのケアだけでなく、地域で子育てする家族への継続的な支援、妊娠したいときに妊娠できる身体づくりのケア、女性が年齢を重ねても元気に過ごすためのケア、多様な文化・価値観を尊重するケアだと考えます。本専攻科には、公衆衛生看護学専攻が併設され、合同授業が設定されています。志を一つにする仲間と出会い、切磋琢磨しながら助産師になる道を本学で拓きませんか？

## カリキュラムと学習内容の特長

正常からハイリスクまで臨床実践に即した  
「リアルな場面」を再現した  
ロールプレイとシミュレーション演習

多職種による子育て支援の中で  
助産師としての能力と役割を学ぶ  
講義と演習

### Curriculum

助産学の基礎領域	助産学の実践領域	助産学の関連領域
助産学概論 1	助産診断とケア 1 2	親子保健指導 1
周産期医学 1 1	助産診断とケア 2 3	子育て支援連携論 1
周産期医学 2 1	助産診断とケア 3 2	助産学課題研究 1
胎児新生児学 1	周産期統合ヘルスケア 1	
リプロダクティブヘルス 1	周産期ハイリスクケア 2	
	助産管理学 2	
	健康教育論 1	
	助産学実習 1~3 11	

全て必修科目  
修了要件全32単位

北海道内各地の周産期医療・母子保健の  
現場に身を置きながら  
助産師に求められる能力を  
獲得するための実習環境

### 実習施設

- 札幌医科大学附属病院
- 手稲溪仁会病院
- NTT東日本札幌病院
- 朋佑会札幌産科婦人科
- 札幌東豊病院
- 札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル
- 北海道立子ども総合医療・療育センター
- 札幌白石産科婦人科病院



出生直後の児のケア



帝王切開での出産時のケア



産科救急  
妊産婦の蘇生



エクササイズ  
産後の身体づくり

### 年間授業スケジュール

月	行事	科目
4	入学式	基礎領域 実践領域 関連領域
5		
6		
7	定期試験	
8 ~ 11	夏季休暇 (4週間)	助産学実習 1~3
12	冬季休暇	
1		
2	助産師 国家試験	
3	修了式	

少子化や看護系大学の増加による母性看護実習経験の減少傾向を踏まえ、看護学教育から助産学教育への移行をスムーズに促せるよう、学内での講義演習で基礎固めした上で実習に向かいます。



荒木 まや  
Araki Maya  
助産学専攻  
札幌医科大学保健医療学部  
看護学科出身

私は、長い実習を通して実践的に学ぶことができ、仲間と切磋琢磨できる環境に魅力を感じ、本学の専攻科を受験しました。実際に、楽しく実践につながる講義や演習が多く、助産師を目指す気持ちを高めることができました。

専攻科での一年間は、振り返るとあっという間でしたが、人生の中で最も濃厚な一年でした。自分が学びたいと思う内容を深めることができ、同じ夢を持つ仲間と感情を共有した日々は、私にとってかけがえのない宝物です。また、少人数制のため、どのような時も先生方が身近にいてくださり安心してできました。勉学に専念できるだけでなく、人間的にも成長できる環境が本学の魅力だと感じています。

受験生の皆さんも、本学の温かな環境の中で素敵な仲間と新たな自分に出会い、夢への大きな一歩を踏み出してほしいです。応援しています。

# 公衆衛生看護学専攻 Graduate Course in Public Health Nursing



専攻サイト

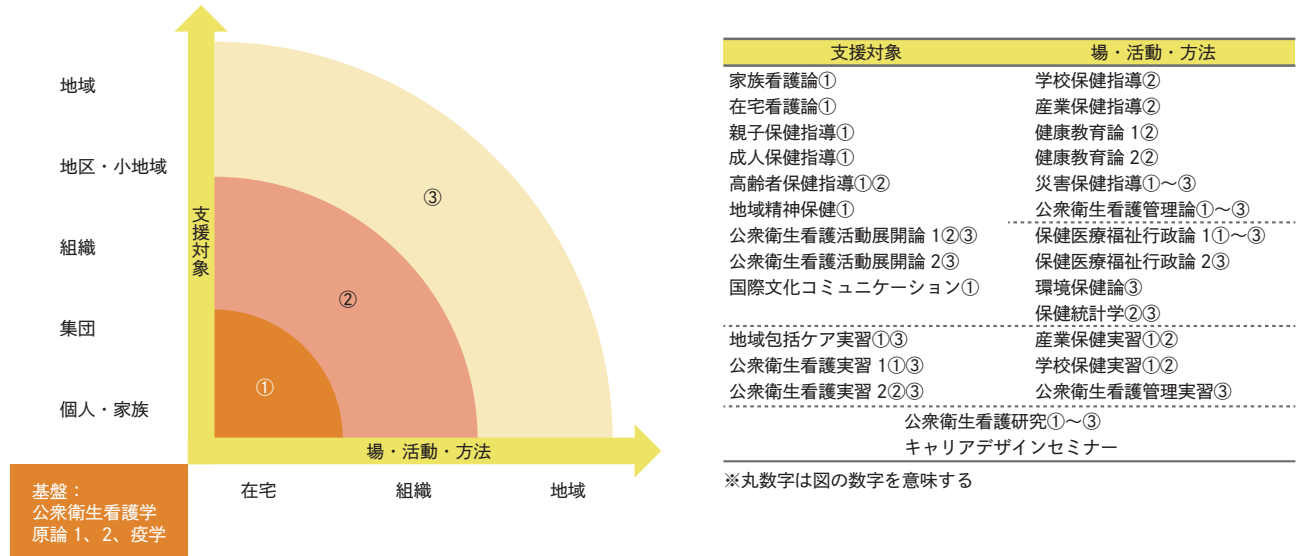


図1 札幌医科大学専攻科 公衆衛生看護学専攻の教育体系

- ・公衆衛生看護の基盤となる科目の充実
- ・「対象」と「場・活動・方法」を連動させた段階的な教育
- ・活動の場に応じた独立した科目の編成
- ・学びの深化を図る科目配置
- ・保健師活動に活かせる公衆衛生看護学研究と探求心の育成

**30科目 合計38単位**  
 全ての単位を修得することで  
**保健師国家試験受験資格が得られます**

## 地域の人々の生活を支え、健康とQOL向上に貢献する保健師の育成

### 公衆衛生看護学専攻の強み

- 1 各分野で豊富な教育・実践経験を有する専任教員による教育
- 2 行政、産業、学校、地域包括ケアに関する質と量を兼ね備えた充実した実習
- 3 健康教育専用の実習室、家庭環境を再現した実習室を整備し、実践能力を育む充実した学習環境
- 4 北海道の地域保健・公衆衛生の充実と発展に貢献する保健師養成の実績

開設以来、国家試験合格率100%!

開設:2020年4月1日  
 修業年限:1年  
 入学定員:15名  
 選抜区分:一般入試、学内推薦入試、社会人入試

#### 取得できる資格

- 保健師国家試験受験資格
- 保健師資格取得後、都道府県労働局への申請により第1種衛生管理者の資格が得られる



公衆衛生看護学研究発表会



健康教育実習



在留外国人との交流会



教授  
**平野 美千代** Hirano Michiyo

### 地域の人々の健康と生活をまもり、健康な地域社会の構築を目指す保健師

保健師は地域に暮らす人々の生活背景や文化的背景を深く理解し、「現在」そして「未来」の健康に向けて看護を提供します。複雑困難な健康課題を抱える個人や家族には、常に寄り添い信頼関係を築きながら支援をします。また、誰もが健康な生活を送れる社会の実現を目指し、地域社会のニーズに応じた制度やシステムなど新たな社会資源の創出にも取り組みます。保健師はとてもやりがいのある職業です。保健師には公衆衛生看護の知識、技術はもちろんのこと、あらゆる境遇の人たちに看護を提供できる温かな人間性が求められます。公衆衛生看護学専攻では、1年間の教育課程を通じて、公衆衛生看護の理論と実践を探究できる講義と演習、実践力を養うための充実した実習等、保健師に必要な実践能力と熱意を身につけることができます。この教育プログラムのなかで、同じ目標をもつ仲間や経験豊かな教員陣との交流を深め、「保健師としての将来の自分」を具体的に描くことができます。私たちは、社会に積極的に貢献できる保健師の育成を目指しています。

### 年間授業スケジュール

月	行事	科目
4	入学式	(公衆衛生看護学研究) 授業
5		
6		臨地実習
7	定期試験	
8	夏季休暇	
9		臨地実習
10		
11		
12	冬季休暇	授業
1		授業・研究発表会
2	保健師国家試験	
3	修了式	



**桐島 瑠菜**  
 Kirishima Runa  
 公衆衛生看護学専攻  
 札幌医科大学保健医療学部  
 看護学科出身

札幌医科大学の専攻科では、多様な科目や実習が組み込まれており、保健師としての心構えや実践する力を身につけられる環境が整っています。普段の講義においても、多様な場所で勤務されていた教員や外部講師のお話を通して、保健師としての自分をより想像することができたり、多くのグループワークから視野を広げて幅広い学びを得ることができます。

専攻科の1年間は実習、研究、就職活動と乗り越えなければならないことがたくさんありますが、同期の学生やいつも近くで支えてくださる教員がいるので安心して学ぶことができます。そしてとても楽しい学校生活です。ぜひ札幌医科大学で実りのある専攻科生活を過ごしてください。

## 医学部・保健医療学部 2学部合同の地域医療教育(地域滞在実習)

### 地域滞在実習を通して 地域の医療現場で多職種連携を実感

北海道は全国の約22%の面積を持つ広大な土地を有しています。一方、医療従事者は都市部に偏在し、地域医療従事者の確保が難しく、地域の医療は疲弊し、過疎地に暮らす人々に不安を与えるなど、社会問題となっています。また、高齢化に伴う要介護者の増加、生活習慣病の増加、疾病構造の多様化・複合化に加え、患者の権利意識、高度医療の要望などが背景にあり、現代の健康問題に対して、疾病の診療、予防にとどまらない幅広い医療活動が求められています。本学ディプロマ・ポリシーには、高度な知識と人間性を有する医療人として、将来地域社会に貢献できる人材育成を謳っています。この目的のための取組の一つとして平成16年度より4学科(医学、看護、理学、作業)合同の地域医療教育(多職種連携教育)を実施してきました。医療人育成センター教育開発研究部門教員が中心となって運営しています。

ここに紹介している地域に滞在して行う実習は、地域の医療・福祉現場での体験を通して、多職種がチームを組んで患者・対象者中心に考える重要性を学び、自身の専門職としてのかかわりや地域の課題解決を考える機会になっています。参加した学生は、地域の多くの方々の協力の下、人との信頼関係を築くことがいかに大切かを学んでいます。

地域医療合同セミナー				
地域滞在型実習	地域医療基礎実習	健康教育セミナー 8月:1~2日間 ●メディカル・カフェ	地域密着型 チーム医療実習 8月:4~5日間	
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
学内教育 (講義・演習)	達成目標:関心を持つ ●地域医療に関する講義 ●グループワーク	達成目標:課題を探る ●健康教育 ●メディカル・カフェ	達成目標:支援を考える ●地域資源探索 ●地域診断	まとめ ●地域医療の振り返り



医療人育成センター  
教育開発研究部門 教授  
杉村 政樹  
Sugimura Masaki

北海道が抱える保健医療福祉問題を網羅的に学びながら、職種横断的に問題解決するための基礎的方法を習得します。

「地域医療合同セミナー」では、本学の「建学の精神」の一つである「地域医療への貢献」に向けて、我が国の保健医療福祉制度の基礎を学びながら、北海道の各地域が抱える諸問題を認識し問題解決のための方策を考えます。演習・実習では、学年が上がるにつれて、地域医療への関心→理解→効力感→達成感をもつことができるプログラムが組まれています。また、学部横断で履修可能な科目であることの利点を活かし、「コミュニケーション」「チームワーク」「リーダーシップ」「多職種連携」についても「地域医療」という文脈で学ぶことができる「実践参加型」の科目です。これらの演習・実習を通じて、現代の多様性に対応できる「医療社会人」を目指します。



医療人育成センター  
教育開発研究部門 助教  
磯山 響子  
Isoyama Kyoko

すべての医療人に必要な「地域医療」の知識と経験が得られます。

地域医療合同セミナーでは、道内で地域医療に貢献している様々な職種の先生方の講義から、住民の健康に関わる知識を多角的に学べます。また、地域実習では、住民やその地域で働く方との交流を通して、五感を使って学び取ろうとする姿勢、医療人としての他者との関わり方を学ぶことができます。医学部、保健医療学部合同のグループワークの中で、チームワークの大切さ、楽しさが実感できます。

「地域医療」とは、単に「へき地」「田舎」で行われる医療のみを指す言葉ではありません。医療機関、保健福祉施設、行政など様々な職種間の連携、そして地域住民とのつながりによって、住民の日々の生活と健康が守られ、促進されます。将来、どこでどんな形で医療に関わるにしても、「地域医療」「多職種連携」の知識と経験は必要です。札幌医科大学で、学生の早いうちから学べることは、きっと強みになるでしょう。

#### 第1学年

#### 地域医療合同セミナー1

地域医療基礎演習

第1学年では、地域医療を展開するために必要とされる基本的な知識を獲得すること、パートナーシップを形成する基本的態度を身につけること、北海道の地域医療課題への関心を深めることを目的としたプログラムが組まれています。道内の地域医療従事者の方を迎えておこなうグループワークを通して、将来、医療人としての地域医療に従事するための素地を養います。上級学年の地域滞在型実習に同行する機会があります。



#### 第2学年

#### 地域医療合同セミナー2

実習地:留萌、別海、稚内

地域住民に対する健康教育の理論と方法を学び、企画、立案を行い、実習地でヘルス・プロモーションのための健康教育セミナーやメディカル・カフェを行います。

地域滞在型実習

健康教育セミナーおよびメディカル・カフェ(8月~9月)

学内教育(講義・演習)

達成目標:「地域の健康課題を知りヘルス・プロモーションを行う」  
●健康教育セミナー ●メディカル・カフェ



#### 第3学年

#### 地域医療合同セミナー3

地域密着型チーム医療実習

1年生2年生で理解した地域の問題点を解決するために、いまままで培ったパートナーシップや基礎的な知識を応用し、地域支援の実践をめざします。地域実習では、種々の医療機関、福祉施設などを訪問し、施設利用者や在宅利用者のお話を伺い、具体的な支援策を考えるなど、能動的な実習に取り組みます。



#### 第4学年

#### 地域医療合同セミナー4

第4学年では1年生から積み上げてきた学習内容を振り返り、まとめを行います。まとめた内容はパンフレットを作成し、医療人を目指す高校生や新入学生などに配布されます。また医療人を目指す高校生を対象に「地域医療合同セミナー」の充実したプログラム内容を伝えるために出前授業を行っています。



# 医療人育成センター



医療人育成センター長  
**鷺見 紋子**  
Sumi Ayako

医療の現場は高度化し、多職種が連携するチーム医療の重要性がますます高まっています。当センターは、医学部と保健医療学部と連携しながら、その変化に対応し、学生から医師・看護師・理学療法士・作業療法士などの医療人が最新の知識とスキルを身につけ、質の高い医療を提供できるよう支援することを使命としています。

当センターには4つの部門(入試・高大連携、教養教育研究、教育開発研究、応用情報科学)があり、入学前は高大連携と入試選抜、入学後は教養教育、教育方法の研究開発、両学部共通カリキュラムの設置、教育に関する多様な情報の収集・分析を行い、卒前・卒後の一貫教育に取り組んでいます。

私たちは、医療の知識や技術の修得だけでなく、倫理観や人間性を重視し、患者に寄り添う姿勢を養うことを大切にしています。また、チームワークやコミュニケーションスキルの向上にも重点を置き、医療現場での協働と効果的なコミュニケーションを促進していきます。皆さんが夢を叶え、医療の最前線で活躍する未来を、共に歩んでいけることを心から楽しみにしています。

## 教養教育研究部門

医療人、医学・保健医療学研究者が身につけるべき学修態度・知識・能力・探究心を高めるために必要な教養教育・専門前教育・専門教育を行うとともに、学術研究による学問発展への貢献を目指します。さらに、社会の変化に対応できる柔軟な思考力と課題解決能力を養う教育の充実にも努めています。

## 教育開発研究部門

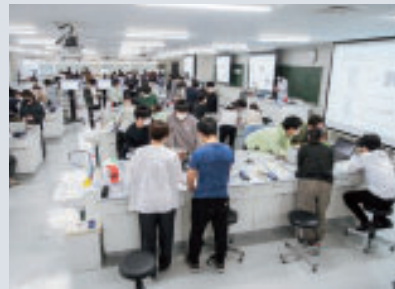
大学機能を発展させるため、医学・保健医療学教育活動強化を目的とした調査・研究を行います。科目横断的な教育を運営し、卒前・卒後一貫教育プログラムを作成・評価することで、高度な医療技術を有し、高い医療倫理を持つ人間性豊かな医療人育成を目指します。また、最新の教育手法やデジタル技術を活用した効果的な学習支援の開発にも取り組んでいます。

## 入試・高大連携部門

医学部及び保健医療学部の入学者選抜の実施とそれに関わる検証・評価を行います。高校訪問、オープンキャンパスなどの高大連携の推進を一体的に行い、医学・保健医療学教育の実績、診療実績、研究成果、社会貢献等、札幌医科大学の魅力を発信します。加えて、高校生が医療現場への理解を深められるオープンキャンパスの実施にも力を入れています。

## 応用情報科学部門

医療情報システム、人工知能などに関する教育、および医療情報学の知見とICT (Information and Communication Technology) を活用した先進的な医学・保健医療学研究を行います。また本学に必要なデジタル化の推進に貢献します。さらに、電子カルテの利活用や遠隔医療支援など、実践的な情報技術の導入・活用を支援し、医療現場の効率化にも寄与します。



# 学生生活関連施設

キャンパス内には、学生のためのミーティングルームも備えた図書館、レポート作成の時も自由に利用可能なコンピュータ実習室、貴重な標本を所蔵している標本館、最新のトレーニング機器も備えた体育館等の施設が設けられています。

その他にも、丸善、スターバックス、ファミリーマート等もあり、充実した学生生活をおくることができます。

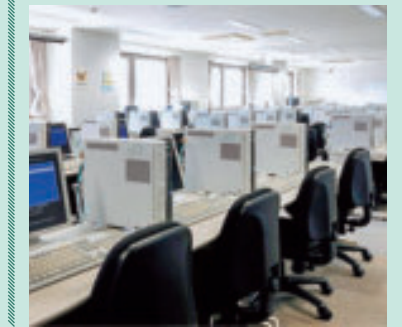
## 図書館

基礎医学研究棟に設置。24時間利用可能。



## コンピュータ実習室

基礎医学研究棟と保健医療学研究棟に設置。24時間利用可能。



## 標本館

人体骨格標本をはじめ、解剖学・病理学・法医学の実物標本や組織標本など約51,000点を所蔵。



## 体育館

トレーニング室や武道場、弓道場なども併設。



## 丸善

医学書はもちろん、学習に必要な専門書を取りそろえています。



## スターバックスコーヒー

附属病院1階にあります。



## ファミリーマート

大学と附属病院にあります。



## — 国際的な視野を身につける —

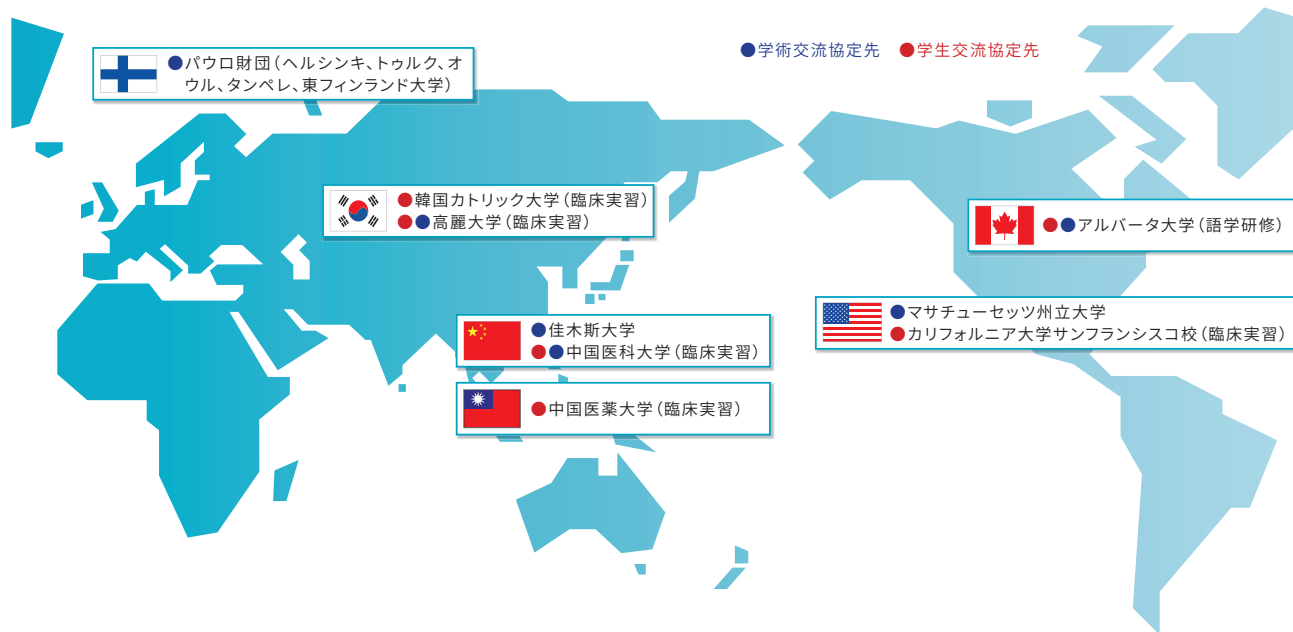
これからの医療人は、海外で活躍できることが求められています。

札幌医科大学では、英語によるコミュニケーションスキルの向上や、海外での臨床実習など、国際的な視野を持つ人材となるために必要な、様々な国際交流事業を実施しています。

学生交流事業では、

- ・全学部生を対象とした「語学研修」
- ・医学部第5学年、第6学年を対象とした「臨床実習派遣」

※2020・2021・2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により国際交流事業を中止し、一部オンラインによる語学研修・セミナーを実施しました。



## 臨床実習【派遣・受入】

### 臨床実習派遣の概要

本学では、アメリカ、中国、韓国、台湾の協定校（※前頁参照）へ、医学部第5学年及び第6学年の学生を対象として派遣を行っています。派遣されるためには学内選考に合格する必要があり、医学部第1学年から第4学年までの成績及び英語面接の結果等を基に、国際交流部が派遣学生を決定します。

派遣は、学生から希望する診療科を確認の上、派遣先と調整し、概ね2～4週間の期間で実施されます。

臨床実習では、派遣先において医療を英語で学習できるほか、現地の医学生と交流することができます。臨床実習派遣後は、札幌医科大学教務委員会の審議を経て、臨床実習の単位振替又は成績の再評価が行われます。

### 臨床実習派遣先の拡大

札幌医科大学では、中国医科大学と韓国カトリック大学での臨床実習に加え、2019年に韓国高麗大学、2020年にアメリカカリフォルニア大学サンフランシスコ校、そして2025年からは台湾中国医薬大学との臨床実習派遣を開始し、派遣先を拡大させています。

### 臨床実習受入

各協定校から学生を受け入れています。本学医学部の学生とともに臨床実習を行いますので、学生同士で交流することができます。

また、国際医学生連盟を通し、主に、欧州の学生を受け入れています。直近では、チェコ・マサリク大学、ベルギー・ブリュッセル自由大学から学生を受け入れ、学生同士の交流がありました。



## 語学研修【派遣】

### 語学研修の概要

1999年度から、カナダ・アルバータ大学（エドモントン市）で、約3週間の語学研修を行っています。2023年度までに、延べ224名の学生が語学研修（オンライン研修を含む）を受けました。研修期間中の午前は、英語の授業、午後は、施設見学やオリエンテーションを行います。宿泊はホームステイです。研修期間の後半では、2泊3日のカナディアンロッキー宿泊研修も予定されており、カナダの大自然を満喫することができます。

また、アルバータ大学での授業出席日数や英語試験の結果を参考に、札幌医科大学教務委員会の審議を経て、英語の単位振替が行われます。語学その他研修では、英語力を向上させることができるだけでなく、現地の方々と触れ合い、異なる文化を体験することができる内容となっています。



### 2025年度の語学研修スケジュール等

- 1 日程 8月3日～8月23日 ※夏休み中に実施
- 2 参加 5名
- 3 備考 札幌医科大学の後援会から、語学研修費用の一部につき、助成金が支給されます。札幌医科大学の教員が学生を引率します。

## その他

### 海外研究者との意見交換会

海外の協定校等から来学した研究者と学生との意見交換会を実施しています。参加する研究者の専門分野に関する意見交換だけでなく、海外の医療事情等を知ることができる貴重な機会となっています。



### 国際交流活動報告会

海外の協定校に派遣された研究者や学生の活動を広く共有し、本学の教育及び研究の発展に役立てるため、国際交流活動報告会を開催しています。本学研究者による派遣先での研究や、学生の臨床実習や語学研修についての結果報告があり、現地でしか得られない体験談などを聞くことができます。



## 札幌医大生の日

札幌医大生はキャンパスでどんな日々を過ごしているのでしょうか。

学生2人のある一日をのぞいてみました。

Campus Life



学び・仲間・環境が揃う札幌医大

川上 純侑

Kawakami Junyu  
医学部医学科 第3学年  
札幌開成中等教育学校出身

### 部活動がある日のスケジュール

08:00 起床  
08:40 登校  
09:00 講義



12:10 昼休み



16:20 講義終了  
17:00 部活



19:30 部活終了  
20:15 勉強



23:00 帰宅

25:00 就寝

## Campus Life

### ◆キャンパスについて

札幌医科大学は、地下鉄や市電の駅から徒歩圏内に位置しており、交通アクセスに恵まれた環境にあります。キャンパス周辺には飲食店も多く、昼休みには友人と気軽に外食を楽しむことができます。利便性の高さは、本学の大きな魅力の一つです。

また、校舎は比較的新しく、明るく開放的な空間が広がっています。建物内にはコンビニエンスストアがあり、講義の合間に軽食や飲み物を購入することができます。さらに附属病院にはスターバックスもあり、勉強の合間に一息つける環境も整っています。

学生ホールやアトリウムなど、自主学習に適したスペースも充実しています。特に図書館は24時間利用可能で、試験期間には多くの学生が集中して学習に取り組んでいます。

### ◆授業について

第1学年前期は主に教養科目を履修しますが、後期からは解剖学や組織学などの医学科目が始まります。第2学年では解剖実習をはじめとする基礎医学科目の講義・実習が本格化し、より専門的な学びへと進んでいきます。札幌医科大学では比較的早い段階から医学科目を学ぶことができるため、医師を目指しているという実感を持ちながら日々の学習に取り組むことができます。そのことが学習へのモチベーション向上にもつながっています。

◆部活動(またはサークル)について  
私は弓道部に所属しています。弓道は、一射一射に集中し、自分自身と向き合う競技です。的中する技術だけでなく、姿勢や礼儀、心の在り方も重視されるため、日々の練習を通して精神面でも大きく成長できると感じています。

### ◆部活動(またはサークル)について

私は弓道部に所属しています。弓道は、一射一射に集中し、自分自身と向き合う競技です。的中する技術だけでなく、姿勢や礼儀、心の在り方も重視されるため、日々の練習を通して精神面でも大きく成長できると感じています。

練習は決して楽なものではありませんが、仲間とともに目標に向かって努力する時間はとても充実しています。試験期間には活動を調整し、学業との両立を図りながら取り組んでいます。

本学には運動部・文化部を問わず多くの部活動があり、学年を越えた交流が生まれる点も魅力です。部活動を通して得られる経験や人とのつながりは、大学生活をより豊かなものにしてくれます。

また、例年6月に開催される大学祭では、各部活動が屋台を出店し、キャンパスは大いに賑わいます。部活動単位での活動も多く、学生同士の結束を感じられる行事の一つです。



将来に繋がるリアルな毎日

中本 結月

Nakamoto Yuzuki  
看護学科 第3学年  
釧路湖陵高校出身

### アルバイトがある日のスケジュール

07:30 起床



09:00 講義開始



16:20 講義終了  
17:00 アルバイト



23:30 帰宅



25:00 就寝

## Campus Life

### ◆キャンパスについて

札幌医科大学は西18丁目駅のすぐの利便性の高い立地にあります。

24時間利用可能な図書館をはじめ、学習に集中できる環境が整っており、アトリウムや学生ホールでは学生同士の交流も活発です。

附属病院が併設されているため、実習にも円滑に取り組むことができます。

### ◆授業について

少人数制の授業を通して、看護技術や医療に関する知識を実践的に学ぶことができ、演習では、一人一人に対してきめ細やかな指導が行われています。

疑問や不安をその場で教員に相談できる環境が整っており、理解を深めながら学習を進められます。

また、他学科との合同授業や他職種について学ぶ機会を通して、医療現場に求められる視点や専門性を養い、自身の将来像について考え続けることができます。

### ◆アルバイトについて

二つの飲食店でホールと厨房のアルバイトを掛け持ちしています。

学校生活だけでは身につかない社会性やコミュニケーション能力を養うことができ、幅広い年代の方との交流も大きな学びです。

同年代であっても学んでいる分野や目指すものが異なる人と関わることで、多様な価値観に触れられる点を面白く感じています。

学業とプライベートと両立するため、時間を意識して効率的に行動する力も身に付きました。

### ◆ひとり暮らしのメリット

ひとり暮らしを通して、生活管理や自己管理能力が身に付きました。

食事や体調、時間の使い方を自分で考えながら生活することで、毎日に学びがあり、自身の成長を実感しています。

また、自分のペースで学習や好きなことに取り組める点も大きなメリットです。

こうした経験は、将来社会人として自立して生活していくうえで役立つ力に繋がっていると感じています。

## 年間イベントカレンダー

4月

- ▶ 入学式
- ▶ 新入生  
オリエンテーション
- ▶ 前期授業開始

5月

6月

- ▶ 大学祭
- ▶ 大学創立記念日

7月

8月

- ▶ オープンキャンパス
- ▶ 夏季休業

9月

- ▶ 解剖体慰霊式・  
遺骨返還式
- ▶ 前期定期試験
- ▶ 実験動物慰霊式

10月

- ▶ 後期授業開始
- ▶ 体育祭

11月

12月

- ▶ 文化芸術祭
- ▶ 冬季休業

1月

- ▶ SD (Student Doctor)  
章授与式

2月

- ▶ 後期定期試験
- ▶ 国家試験  
・医師 ・看護師  
・理学療法士  
・作業療法士

3月

- ▶ 春季休業
- ▶ 卒業式



入学式



オープンキャンパス



大学祭



解剖体慰霊式・遺骨返還式



実験動物慰霊式



文化芸術祭



SD章授与式



卒業式

## 部活動・サークル活動

医科大学でありながら本格的な競技活動を展開している体育系。積極的に地  
さまざまな部活動・サークル活動に参加することで大切な人間関係を築きな

域・社会貢献に取り組む文化系。  
から、かけがえのない大学生活を送っています。



### 文化系

- JAZZ研究会
- POPS研究会
- イリス会 (美術部)
- 演劇部
- 外科手技部
- 混声合唱団うた部
- IFMSA (国際医学生連盟)
- 茶道部
- 室内楽合奏団
- 連合吹奏楽団
- 箏曲部

- EZOLS  
(北海道救急医療研究会)
- IML
- 珈琲研究会

### 体育系

- スケート部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 自転車競技部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 女子バスケットボール部
- 女子バレーボール部

- 水泳部
- スキー部
- 卓球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- ダンス部

- 軟式庭球部
- 軟式野球部
- ハンドボール部
- バドミントン部
- フットサル部
- ラグビー部

- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- ダーツ部
- スノーボード部
- モルック部







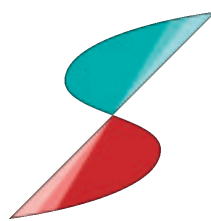
シンボルマーク

<https://web.sapmed.ac.jp/>

北海道公立大学法人 札幌医科大学

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

TEL(011)611-2111(代)



コミュニケーションマーク

●本学のシンボルマーク

「だ円」(粹組み)は宇宙の調和、「1945」は本学の創基年、「七光星」は北海道の象徴、「羽」は発展と飛躍、「柏の葉」は英知と質実、「へびと杖」は医学のシンボル、アスクレピオスの杖を、それぞれ表現しています。



●本学のコミュニケーションマーク

札幌医科大学(Sapporo Medical University)の頭文字「S」を、世界、未来に向けて飛躍する「翼」や「プロペラの羽」に見立てたマーク。

羽のモチーフは、北海道の地域医療を第一線で担う本学の使命を表し、羽の残像を感じさせるデザインは「躍動感」、異なる2色の羽の組み合わせは「伝統と未来」「地域とグローバル」「都市と自然」など、一見相反する価値を併せ持つ本校の独自性を表現しています。また、世代を超えた卒業生とのつながりや、社会の課題解決に向け様々な境界を越えて挑戦し、新しい価値の創出を目指す「ボーダーレス」な本学の姿勢と意思を込めています。



未来を、ちょっと、のぞいてみよう。

## 2026年オープンキャンパス

〈医学部〉8月5日実施予定 〈保健医療学部〉8月4日実施予定

※両学部ともに事前申込みが必要です。

※お申込み・詳細については、随時ホームページにて発表します。



[https://x.com/SMU\\_NYUSHI](https://x.com/SMU_NYUSHI)



<https://www.youtube.com/channel/UCE1Dz79Aw9yModBENuAw9GA>



入学者選抜要項



学生募集要項

